

「オンリーワン徳島行動計画（第二幕）」 目標水準・数値目標 平成20年度 進捗状況見込一覧表

1 目標水準、数値目標について

「オンリーワン徳島行動計画（第二幕）」では、7つの基本目標を具体化するための49の各重点施策ごとに、「目標水準」を定めるとともに、これを構成する主要事業についても、個々に「数値目標」を設定しており、平成20年度版計画においては、合計541の「目標水準」、「数値目標」を掲げているところです。

今回、「オンリーワン徳島行動計画（第二幕）」の平成20年度のそれぞれの「目標水準」、「数値目標」の進捗状況についてとりまとめました。

2 一覧表の見方について

(1) 「現況値」欄には、計画に記載している数値を記載しています。

(2) 「実績値」欄には、原則としてそれぞれの年度の年度末時点の数値等を記載しています。実績値が判明していない場合等は、「-」としています。

(3) 「目標値」欄には、平成20年度版計画において設定した、目標年度までに達成しようとする数値等を記載しています。

なお、印の目標値は、平成21年度版計画において、上方修正を予定しています。

(4) 「進捗状況の説明」欄には、実績値の目標値に対する進捗状況の説明を記載しています。

【様式2】

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 平成20年度進捗状況見込み一覧表

印は21年度版で上方修正 (20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	部 局
			年 度	年 度				年 度	年 度		
基本目標1「オープンとくしま」の実現											
1 - 1 オープンとくしま体制づくり											
1	外部専門家による監査委員数	人	4	17	委員定数を増加 (4 6)	4	5	6	22	平成19年3月に監査委員の定数を増加。平成20年4月に委員の増員(1名)を行った(監査委員数5名)。	企画
2	(未来創造プラン推進)外部有識者等からなる推進組織の設置		-			設置・推進	推進	設置・推進	19	外部有識者等からなる「とくしま未来創造プラン推進委員会」を設置(平成19年12月)し、第三者的な立場からプランの進行管理に取り組んでいただくとともに、平成20年度については、今後の県の「人材能力開発」への取組について提言をいただいている。	企画
1 - 2 県民主役とくしまづくり											
3	知事部局の情報公開度ランキング(全国)	位	-	17	5位	1位	-	3位以内	20	積極的な情報公開に努めた結果、平成19年度に1位となり目標を達成した。平成20年度のランキング実施について未定。	企画
4	「県庁コールセンター」の設置	箇所	-	17	-	検討中	検討中	3	21	21年秋試行運用開始。22年4月本格運用に向け準備を進めている。	県民
5	県ホームページ月間平均アクセス数	千件	204	17	213	189	190	250	22	引き続き積極的な情報提供に努める。	企画
6	「しゃべり場とくしま」、「とくしま円卓会議」の開催回数	回	9	17	13	12	12	14	22	しゃべり場を6回、円卓会議を6回開催。引き続き県民との対話を進める。	企画
7	「知事への提言」メール・はがき・手紙の受付件数	件	636	17	874	1,050	1,000	1,000	22	引き続き県民との意思疎通を図る。	企画
8	パブリックコメント実施件数	件	22	17	23	37	23	40	22	県のすべての行政機関においてオープンとくしまパブリックコメント制度を導入している。	県民
9	県民広聴事業における県民相談件数	件	5,507	17	5,377	5,422	5,000	7,000	22	県庁、南部・西部総合県民局において、県民相談を行っている。なお、平成20年度は、前年度まで徳島・川島・鳴門の各財務事務所に設置していた県民サービスセンターが県庁に集約されたことに伴い、件数の減少が見込まれる。	県民
10	オープンとくしまe-モニターアンケート制度	件	8	17	7	10	12	10	22	インターネットを活用した県政アンケート調査を16年度から実施している。	県民

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	見込値 (20年度)				
1 - 3 公正で公平な県政づくり											
11	入札・契約制度改革のための「全国知事会提案指針」の実現		-	17	-	推進	実現	実現	20	平成20年度入札制度において一般競争入札を1千万円以上に拡大し、総合評価落札方式を2千万円以上の委託業務に拡大する等の改革を実施。指針の内容をほぼ実現した入札制度となっている。	県土
1 - 4 共感と協働による地域づくり											
12	「とくしま県民活動プラザ」サテライト・オフィスの設置	箇所	-	17	-	検討	1	2	21	「とくしま県民活動プラザ」サテライト・オフィスの南部については、20年に設置済み。21年度は、西部における設置に向けて準備を進めている。	県民
13	「とくしまNPOシンクタンク」の創設		-	17	-	創設	推進	創設	19	19年10月に創設し、目標を達成した。	県民
14	「とくしま県民活動プラザ」利用者数	人	29,292	17	28,350	34,738	38,296	32,000	22	NPO・ボランティアなど社会貢献活動の総合的な支援拠点として、県民の間に浸透している。	県民
15	NPO法人数	団体	64	15	189	214	240	260	22	NPO法人制度の周知等により、NPO法人数は順調に増加している。	県民
16	NPO法人の事務所がない市町村数	市町村	5	17	2	1	1	0	22	NPO法人制度の周知等により、NPO法人は全県的な広がりを見せている。	県民
17	ボランティア・アドプト登録人口	人	135,238	17	136,081	139,289	139,500	140,000	22	社会貢献活動への参加形態の多様性により伸び幅は大きくないものの、着実に増加している。	県民
18	貸しデスク登録ボランティア団体数	団体	-	17	-	4	4	4	22	19年度から実施しているが、4団体が登録し順調に推移している。	県民
19	社会貢献活動団体等との協働事業数	事業	24	17	31	7	27	30	22	協働推進モデル創出事業等により、NPO等との協働事業を実施している。なお、平成20年度からは、とくしま"トクトク"事業のうちの「県民との協働推進事業」を行い、協働事業を拡大し、全庁的に取り組んでいる。	県民
20	アドプト参加団体数	団体	475	17	540	701	760	570	22	アドプトプログラムの周知等により、これまで参加団体数は順調に増加してきている。	県民
21	農家との協働による農業農村整備事業数(累計)	地区	11	17	13	15	16	18	22	平成20年度は、新たに農家との協働により農業農村整備事業1地区(累計16地区)に着手した。	農林
22	県庁におけるインターンシップ大学生の受入数(累計)	人	127	17	179	237	303	360	22	制度の周知や大学との連携に努めた結果、20年度は県庁の各部局において66名を受け入れた。	企画

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績 見込値 (20年度)	目標値		進捗状況の説明	部局
				年度		年度		年度			
1 - 5 地方分権とくしまづくり											
23	国への政策提言数（ジャパンスタード） （累計）	件	21	17	49	88	149	150	22	20年度は、5月要望として、56項目の施策提言を行うとともに、「原油価格高騰対策」、「世界的な金融危機対策」など5件の緊急提言を行った。	企画
24	パッケージ単位での権限移譲を受けた市町村数	市町村	-	17	18	20	22	全市町村	22	20年度には、石井町と北島町が新たに受け入れる予定である。	県民
1 - 6 行財政の構造改革の推進											
25	とくしま未来創造プランの策定・推進		-	17	-	策定・推進	推進	策定	19	平成19年11月に策定した「とくしま未来創造プラン」に基づき、全庁あげた行財政改革の取り組みを推進している。	企画
26	県出先機関数	機関	82	15	47	44	30	35	21	平成20年度の東部圏域の組織再編により、出先機関の再編整備が完了（出先機関数 30機関）。	企画
27	全庁的な業務改善の取り組み項目数		-		-	設置・推進	12	30	22	平成20年2月に庁内組織である「働きやすい職場づくり推進委員会」を設置し、業務改善の全庁的な取組を推進している。	企画
28	職員数の削減（H19年4月～H23年4月） （一般行政部門職員）	人	-	17	66	76	131	200人以上削減	22	平成19年4月1日から平成20年4月1日までの間に、一般行政部門職員数131名の削減を行っている。	企画
29	職員給与の見直し		-	17	-	職員給与の 臨時的削減	職員給与の 臨時的削減	実施	22	本県財政の健全化に資するため、特別職の給与カット、職員給与の臨時的削減等に取り組んでいる。	企画
30	東部圏域の組織再編		-	17	あり方を 検討	組織検討 開設準備	再編完了	再編完了	20	平成20年度の東部圏域の組織再編により、「出先機関再編整備計画」に基づく再編が完了。	企画
31	農林水産総合技術支援センターのPFI手法 による再編・新拠点整備【再掲】		-	17	-	調査	プラン策定	整備予定	22	「再編整備実施プラン策定事業」を実施した。	農林
32	県の外郭団体の見直し対象団体数	団体	39	16	34	30	30	32	21	各団体毎に策定した「経営改善計画（問題解決プラン）」の進行管理を行うとともに、適時適切な助言を行うなど外郭団体の見直しを推進している。	企画
33	県の外郭団体の組織の見直し （H16/H21）		-		役員 6% 職員 19%	役員 16% 職員 27%	-	役員数 10% 職員数 20%	21		企画
34	県の外郭団体の県の関与状況の見直し （H16/H21）		-		補助金24% 委託金 38%	補助金 7% 委託金 40%	-	補助金 30% 委託金 40%	21		企画
35	県の外郭団体の公益法人制度改革の導入		-		情報収集	情報収集	導入・推進	導入	20	20年12月の新制度導入に伴い、外郭団体の公益認定に向けた取り組みを推進している。	企画
36	公の施設数	施設	89	16	67	64	63	63	21	指定管理者制度の導入に伴い、公の施設の見直しに取り組んでいる。	企画

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)					
37	市場化テスト等の導入検討 (既存公共施設の改修等にPFI導入)	施設	-	17	0	1	1	2	22	青少年センターについて、PFIを活用した改築事業に取り組んでいる。	企画
38	ネーミングライツの導入	施設	-	17	3	3	4	5	22	20年5月から新たに1施設にネーミングライツ制度の導入を行うとともに、県立施設への更なる導入推進に取り組んでいる。	企画
39	政策評価の改善見直し事業の割合	%	50	17	49	73	78	75	22	徹底的な見直しと、より一層の選択と集中の視点をもって改善・見直しに取り組んだ結果、目標数値を達成した。平成21年度以降も不断の見直しを行う。	企画
40	条例の年間改廃制定数	本	58	15	58	68	74	116	22	制度改正に着実に対応するとともに、現行条例が有効に機能しているか否かの観点から要廃止条例及び要改正条例の全庁洗出調査に着手した。	企画
41	耐震リニューアル施設数(累計)	施設	7	17	16	20	27	38	22	年次毎の工程表に基づいて、計画的に推進している。	企画
42	財政中期展望の改定		策定・公表	15	-	改定・公表	-	改定	19	平成19年10月に改定・公表	企画
43	財政改革基本方針の策定		策定・公表	16	-	策定・推進	推進	策定・推進	19	平成19年10月に「財政構造改革基本方針」を策定・公表	企画
44	県債残高の減少		-		9,613億円	9,548億円	約9,450億円を見込む	H20までに減少に転じる	20	長年にわたり累増してきた県債残高が、H19末に初の減少に転じた。H20末は、更に100億円程度押し下げ、2年連続での減少を達成するべく財政構造改革を継続する。	企画
45	公債費(対前年のび)		-		867億円(当初予算)	913億円(当初予算)	918億円(当初予算)	H22までに0に近づける	22	公債費を減少させるために、そのピークをH20に前倒しすべく、財政構造改革を継続する。	企画
46	新公会計制度による新たなバランスシートなどの財務諸表の整備						策定・公表	20年度決算から整備	21	1年前倒しし、平成19年度決算から整備。	企画

1 - 7 人権尊重とくしまづくり

47	「人権教育啓発推進センター」事業参加者・利用者数	人	-	17	-	14,484	-	12,000	22	徳島県立人権教育啓発推進センター「あいぼーと徳島」の事業として、人権フェスティバル・人権講座・展示事業や人権相談事業を実施し、県民の人権教育啓発事業への参加を促進するとともに「あいぼーと徳島」の利用を促進した。なお、20年度実績については、21年4月頃に判明予定。	保健
48	「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」の推進		-	17	推進	推進	推進	推進	19 ~ 22	平成16年度に策定した「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、人権教育・啓発に関する施策を総合的かつ計画的に推進した。	保健
49	人権教育の推進と具体実践化		-		推進・実践	推進・実践	推進・実践	推進・実践	19 ~ 22	文部科学省より公表された「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」の活用促進を図り、推進方針に基づく人権教育を推進した。	教育

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	部 局
			年度	年度				年度	年度		
50	人権教育啓発推進センターの開設		-	17	整備	開設	推進	開設	19	人権教育・啓発推進の中心的役割を果たす拠点である徳島県立人権教育啓発推進センター「あいぼーと徳島」を開設し、人権教育啓発に関する事業を実施した。	保健

基本目標2「経済飛躍とくしま」の実現

2 - 1 経済飛躍とくしま体制づくり

51	「LEDバレイ推進ファンド」の創設・造成額	億円	-	17	-	40	-	40	19	40億円のファンドを造成し、その運用益により、LED関連企業等を支援した。	商工	
52	「経済飛躍のためのファンド」への増設	億円	40	19	-	40	125	100	20	40億円の「LEDバレイ推進ファンド」を、地域資源を活用した産業の創造を推進するため、100億円の「経済飛躍のためのファンド」に増設した。さらに、全国に先駆け、25億円の「農工商連携ファンド」を加え、総額125億円の「とくしま経済飛躍ファンド」を創設した。	商工	
53	「徳島県経済飛躍のための中小企業の振興に関する条例」の制定・推進		-	18	-	制定	推進	制定	19	平成20年3月に制定した条例に基づき、「頑張る中小企業者」への支援施策を推進した。	商工	
54	「徳島県農林水産業振興条例(仮称)」の制定・推進							制定	制定	20	条例制定検討委員会の開催、パブコメの実施を行い、農林水産業の発展や農山漁村の活性化に資する「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本条例」を制定した。	農林
55	経済成長戦略アドバイザーの設置		-		-	設置	拡充	設置	19	20年度には「徳島県経済成長戦略アドバイザー」として新たに3名を委嘱し、「経済飛躍とくしま」の実現に向けた貴重な提言をいただいた。	商工	
56	農業協同組合数	組合	18	17	16	16	16	1	22	平成22年度までに県内1農協とする目標に向け、職員に対する経営概要ヒアリング及び役員等に対する合併指導を通して、合併推進を行った。	農林	
57	森林組合数	組合	13	17	12	11	11	5	22	平成20年度は森林組合の広域合併に向け、協議会等を開催している。	農林	
58	漁業協同組合数(沿海)	組合	35	17	35	35	35	1	19	当初目標の「平成20年1月1日に一県一漁協体制を確立する」ことは見送られたが、合併による組織強化は欠かせないという基本認識は一致しており、引き続き合併等の組織強化に向けた取り組みを支援していく。	農林	
59	認定農業者数	経営体	1,422	17	2,121	2,539	2,650	2,800	22	各市町村に設置した担い手育成総合支援協議会を核に育成活動を実施した。	農林	
60	農業法人数	経営体	123	17	124	139	140	150	22	各市町村に設置した担い手育成総合支援協議会を核に育成活動を実施した。	農林	
61	新規就農者数(累計)	人	48	17	108	202	260	350	22	農業人フェアなどの様々な機会を通じ、就農相談を実施した。アグリカスクールの講座内容の充実を図った。	農林	

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	部 局
			年度	年度				年度	年度		
62	新規漁業就業者数（累計）	人	22	17	38	49	-	150	22	就業希望者と受け入れ機関となる漁業協同組合とのマッチングに取り組んだ。 (20年度実績は21年4月に判明)	農林
63	農林水産総合技術支援センターの再編・新拠点整備		-	17	-	調査	プラン策定	整備予定	22	「再編整備実施プラン策定事業」を実施した。	農林
64	徳島県の輸出入総額 (小松島税関支署管内通関額)	百万円	101,105	17	109,860	135,516	180,000	130,000	22	本県貿易の一層の振興を図るため、国際ビジネスに関する人材育成、海外との産業交流等に取り組んでいる。	商工
65	「ハノーバー・メッセ」への徳島ブースの 出展		-	19	-	-	出展	出展	20	世界最大の産業技術総合見本市「ハノーバー・メッセ」に徳島ブースを出展し、県内企業の海外販路開拓を支援した。	商工
66	「徳島県科学技術振興計画」の策定		-	19	-	-	策定	策定	20	本県における科学技術施策の推進に向け、将来像や振興策を明らかにするため、「徳島県科学技術振興計画」を策定した。	商工
67	中小企業向け融資制度融資件数	件	4,024	17	3,694	3,306	3,500	6,000	22	経済情勢に対応して、融資条件の緩和等、中小企業者の資金繰りの円滑化に努めた結果、平成20年度については、利用件数が増加に転じた。	商工
68	四国横断自動車道(鳴門～徳島)の整備 用地取得率【再掲】	%	14	17	63	95	98	100	22	順調に用地取得を推進した。	県土
69	徳島小松島港赤石地区における貨物取扱量 【再掲】	万トン	120	17	113	-	-	200	22	内貿埠頭の早期供用に向けて用地造成を推進。実績は翌々年度6月頃に確定する見込み。	県土
70	徳島飛行場の拡張【再掲】		整備中	17	整備中	整備中	整備中	供用	22	平成22年度供用に向けて事業促進。 平成19年度末に、埋立工事完了。今年度は滑走路滑走路整備等に着手。	県土
71	長安口ダムの改造【再掲】				-	事業着手	整備促進	事業着手	19	那賀川の治水・利水安全度の向上を図るため、平成19年度から国直轄事業として長安口ダム改造に事業着手し、平成20年度は堆積土砂の除去等を実施。	県土

2 - 2 ビジネスチャンス増大プロジェクトの推進

72	県内企業への優先発注率（件数）	割合	-	17	89.4	90.4	-	9割	22	「県内企業優先発注及び県内産資材の優先使用のための実施指針」に基づく取り組みの結果、平成19年度実績は、90.4%と目標値である「9割」を達成した。目標値達成を確かなものにするよう、引き続き取り組みを強化する。平成20年度実績は21年秋頃に判明予定。	商工
----	-----------------	----	---	----	------	------	---	----	----	---	----

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	部 局
			年度	年度				年度	年度		
73	とくしま経営塾「平成長久館」階層別受講者数(経営者研修)(累計)	人	-	17	826	1,522	2,212	2,100	22	とくしま経営塾「平成長久館」事業として経営者向け研修を実施し、受講者数は順調に増加している。	商工
74	とくしま経営塾「平成長久館」階層別受講者数(社内リーダー養成研修)(累計)	人	-	17	725	1,232	1,815	2,100	22	とくしま経営塾「平成長久館」事業として社内リーダー養成研修を実施し、受講者は順調に増加している。	商工
75	「徳島県経営品質賞」応募等企業数	社	3	17	6	7	11	10	22	「経営品質プログラム」の考え方は徐々に浸透しつつあり、品質賞等への応募も増加している。	商工
76	改善エキスパート認定人数(累計)	人	25	17	43	52	58	80	22	「改善エキスパート」認定制度について、認知度が高まってきており、認定数も順調に推移している。	商工
77	eコマースサイト(中小企業支援機関の運営)への出店企業数(累計)	社	-	17	22	54	65	100	22	eコマース(電子商取引)サイト「AWAとくしま」を運営し、県内企業の電子商取引促進に取り組んだ。出店企業数は、順調に増加している。	商工
78	「事業継続計画」(BCP)作成事業所数(累計)	事業所	-	17	6	8	12	30	22	策定済みに至らないまでも、BCP策定に取り組む事業所は増加しており、引き続き県内企業のBCP策定の推進に努める。(策定中:22事業所)	商工
79	「地震防災対策資金」融資件数(累計)	件	-	17	1	2	2	20	22	PRちらしを作成し、企業防災フォーラム等において周知を図っている。	商工
80	「建設業新分野進出支援資金」融資件数(累計)	件	1	17	5	8	11	30	22	平成20年度には「建設業新分野進出支援資金」から「地域産業新事業展開支援資金」として対象及び利用条件を拡大するとともに、PRに取り組んでいる。	商工
81	セミナーや支援制度説明会等の参加者数(年間)	人	221	17	199	1,747	1,059	1,000	22	経営体質強化、技術力向上、新分野進出などを支援するためのセミナーや支援制度を周知するための説明会等を開催。	県土
82	情報提供基盤「とくしま建設業支援情報板」の整備		-	17	-	-	整備	整備	20	建設産業の再生支援に関する情報を集めたホームページ「とくしま建設業支援情報板」を平成20年6月に開設。	県土
2 - 3 時代を先取るとくしま産業づくり											
83	LED関連企業数(累計)	社	10	17	25	38	59	100	22	LEDパレイ構想行動計画に基づき、中小企業が取り組む新製品開発、研究開発、販路開拓等を支援するなど、各種施策を総合的に実施したことにより、59社となった。	商工

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	部 局
			年度	年度				年度	年度		
84	「農工連携事業」による商品開発事業数 (累計)	件	-	17	-	6	11	10	22	本県の強みである地域資源(農林水産品)を活用した新商品開発支援、経営革新支援などを行うとともに、豊富で多様かつ品質に優れ、安全な農林畜水産物と中小企業が有する高いものづくり技術とが連携した農工商連携事業を推進した。	商工
85	LED応用製品の研究開発参画企業数 (累計)	件	7	17	12	18	25	32	22	LED関連製品開発可能性調査事業において新たに7件を採択し、技術支援を行ったことにより、25件(累計)となった。	商工
86	「LEDバレイ推進ファンド」の造成額 【再掲】	億円	-	17	-	40	-	40	19	40億円のファンドの運用益を活用し、LEDを利用した新商品開発、販路開拓など中小企業の先進的な取り組みを支援した。	商工
87	LEDを利用した「光の八十八ヶ所」の認定 箇所数(累計)	ヶ所	-	18	-	13	22	88	22	LEDを利用した光の名所を「光の八十八ヶ所」として認定するとともに、光の八十八ヶ所の一環事業として、期間限定によるLED冬のイルミネーションを募集し、46ヶ所のスポットをホームページなどにより紹介し、LED王国・徳島のブランド化を促進した。	商工
88	車両用信号灯のうちLED式信号灯の割合	%	17	17	22	27	32	35	22	約400灯を計画的に整備した。	警察
89	「JSTイノベーションサテライト徳島」を利用した研究資金の採択件数(累計)	件	-	17	2	4	6	10	22	目標値どおり、産学官の研究成果の育成を推進した。	商工
90	競争的研究開発資金の新規事業採択件数 (累計)	件	-	17	3	4	5	7	22	地域イノベーション創出開発研究事業の平成20年度新規事業として1件採択された。	商工
91	水産業と商工業が連携した見本市開催回数 (年間)	回	-	17	0	1	1	2	22	平成20年8月に水産ブランドの京浜圏における新たな販路を開拓するため、漁協と築地市場関係者との連携を促す「とくしまブランドPR会in築地市場」を開催した。	農林
92	漁業協同組合・商工業者連携ブランド協議会 数	協議会	-	17	0	1	3	5	22	県産ハモの消費拡大と認知度向上を図るため、20年7月に生産者団体と市場関係者、旅館・料理業関係の方々等が連携し新たに「徳島の活鱧ブランド確立対策協議会」を組織し、指定料理店の登録を実施した。また、漁協と卸売業者や加工業者が連携し「鳴門鯛」のブランド化やハモの加工品開発に取り組んだ。	農林

2 - 4 創業いきいき産業づくり

93	新規創業者等の事業計画認定件数(累計)	件	-	17	-	17	40	150	22	県内創業者に対して各種支援を行う制度を創設した。今後も様々な業種や規模の創業を奨励し支援する。	商工
94	バイオマス利活用モデル地区数(累計)	地区	-	17	1	3	6	15	22	三好市で「バイオマスタウン構想」、阿南市で「次世代エネルギーパーク構想」、上板町で「地域新エネルギー・省エネルギービジョン」が策定された。	農林

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	部 局
			年度	年度				年度	年度		
95	創業に関する講座の受講者数(累計)	人	-	17	502	883	1,362	1,200	22	幅広い年齢層を対象とした創業に関する講座を開催した。今後も創業の促進に努める。	商工
96	投資事業有限責任組合による投資企業数(累計)	社	3	17	5	8	8	10	22	有望な技術等を持つベンチャー企業等に投資を行うことにより、企業の資金需要に対応している。投資先の企業には株式上場に向けた経営支援を行い、必要に応じて追加投資を実施している。	商工
97	創業を目指す者に対する新規融資件数(累計)	件	87	17	200	274	314	500	22	順調に利用されており、今後も様々な業種の創業を支援する。	商工
98	「徳島のSOHO事業者サイト」登録事業者数(累計)	社	33	17	48	57	62	70	22	セミナーの開催やSOHO総合支援サイトの運営等によりSOHO事業者を総合的に支援した。登録事業者数は、順調に増加している。	商工
99	「お試し発注制度」による発注事業所数(累計)	事業所	18	17	28	36	41	40	22	お試し発注制度を改正した。数値は順調に増加している。	商工
100	経営革新承認件数(累計)	件	151	17	198	224	254	300	22	次代のオンリーワンを目指して経営革新に取り組む県内中小企業を広く支援した。数値は順調に増加している。	商工
101	あったかコンペ「平成藍大市」の開催		-	19	-	-	開催	開催	20~	県の認定等を受けた地域密着型の小規模事業者の事業成果を評価・顕彰する県民参加型のコンペを開催した。	商工
102	「脱石油」実証実験の取り組み数(累計)	件	-	17	0	2	8	10	22	石油から他のエネルギーへの転換に向け、しいたけ栽培においてヒートポンプを導入した。また、トマト等の栽培において燃油使用量を低減するための多重被覆や循環扇等、鶏舎において断熱技術を導入した。	農林

2 - 5 新たな雇用と働きやすさとくしまづくり

103	徳島県有効求人倍率(年平均)	倍	0.80	17	0.92	0.89	0.80	1.00	22	20年度実績(平成20年平均)は前年度実績(平成19年平均)より下降し、雇用失業情勢は厳しい状況にある。今後、緊急雇用対策の推進に努める。	商工
104	「コールセンター」等情報通信関連産業の新規雇用者数(累計)	人	-	15	500	600	620	1,000人以上	22	新たに1企業を奨励指定し、累計6企業になった。	商工
105	働きやすい職場づくり支援アドバイザー派遣件数(累計)	件	-	17	-	30	54	120	22	派遣の増加を図るため事業の広報に努めている。(20年度数値は12月末時点の実績値)	商工
106	「障害者雇用促進憲章」(又は条例)の制定				-	制定	-	制定	19	平成19年12月に「とくしま障害者雇用促進憲章」を制定し、目標を達成した。	商工

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
107	民間企業の障害者雇用率	%	1.41	17	1.33	1.49	1.53	法定雇用率 以上	22	20年度実績(平成20年6月1日現在)は法定雇用率1.80%を下回っているものの、労働局など関係機関と連携し、障害者雇用を促進するための啓発活動や障害者の職業能力開発に向けた訓練等を実施したことにより、前年度より0.04ポイント上昇した。	商工
108	企業立地優遇制度適用指定企業(累計)	社	21	17	24	27	28	35	22	新たに1企業を奨励指定し、累計28社になった。	商工
109	介護保険サービス従事者(居宅)等増加数	人	-	17	264	400	-	800	19 ~ 22	市町村と連携しながら、介護サービス事業者への適正な指導に努めており、順調に従事者数は増加している。なお、20年度実績は21年6月頃に判明予定。	保健
110	徳島県若年者就職サポートセンターを活用した就職件数(累計)	人	829	17	1,396	1,929	2,326	3,000	22	徳島公共職業安定所学生職業相談コーナーを併設し、職業相談から職業紹介までの雇用関連サービスを1箇所提供していることから、就職件数は順調に推移している。(20年度数値は11月末時点の実績値)	商工
111	徳島県若者サポートステーションにおける相談件数(累計)	件	-	17	411	1,242	1,955	2,000	20	キャリアコンサルタントなど専門家によるきめ細やかな相談を実施していることから、相談件数は順調に推移している。(20年度数値は11月末時点の実績値)	商工
112	徳島県就労支援プラザを活用した就職件数(累計)	人	154	17	220	279	315	470	22	Uターン等希望者や中高年齢者に対する求人情報の提供やきめ細やかな職業相談を実施しているが、中高年齢者の雇用情勢が厳しいこともあり、目標達成は厳しい状況となっているため、今後、より一層のきめ細やかな職業相談等により就職件数の増加に努めることとしている。(20年度数値は11月末時点の実績値)	商工
113	緑の研修生の定着数	人	-	17	-	8	15	30	22	平成18年度から再スタートした緑の研修生制度を受講した研修生が平成20年度は15名定着している。	農林
114	自立支援プログラムを活用した就職件数(累計)	人	-	17	35	81	99	110	22	母子家庭の母等に対して、技能や資格を修得するための講習会や母子自立支援プログラムの策定を実施し、就労を支援した。なお、20年度の実績見込値は、20年12月末の実績値。	保健

2 - 6 新鮮とくしまブランド戦略の展開

115	「とくしまブランド」輸出定着品目数(累計)	品目	1	17	2	3	3	10	22	東アジアにおいて「なると金時」や「鳴門わかめ」、「タチウオ」が定着。	農林
116	「阿波尾鶏」出荷羽数	万羽	199	17	214	225	230	300	22	平成20年度は出荷羽数の伸びが鈍化しているものの、目標達成に向け推移している。	農林
117	農林水産物ブランド品目飛躍数	品目	4	17	12	12	12	36	22	「新鮮 なっ!とくしま」号の展開により「徳島ならではの」のPRを実施した。(「ブランド品目」の選定は、平成22年度に実施予定)	農林

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	部 局
			年度	年度				年度	年度		
118	県外における「とくしまブランド」協力店数	店舗	-	17	0	14	23	30	22	京阪神、京浜、中京地域で登録を行い、さらに拡大を図った。 「新鮮なとくしまフェア」の開催や、販売資材の支援により県産農林水産物の販売促進につなげた。	農林
119	「とくしまブランド」輸出拠点数	箇所	1	17	1	2	2	5	22	「台湾」及び「韓国」で本県農林水産物が定着。	農林
120	園芸品目の産出額	億円	663	17	650	-	-	700	22	「ブランド産地強化計画」の作成及び、その目標を達成するための取り組みを支援した。（ブランド産地の強化：ハード35箇所、ソフト13箇所 県域課題の解決：2団体）（平成19年度実績は、21年度未判明）（平成20年度実績は、22年度未判明）	農林
121	「オンリーワン畜産新ブランド」の作出				-	開発中	開発中	1ブランド 作出	22	「畜産新ブランド」の作出のため、試験研究機関で研究開発を進めている。	農林
122	漁業生産額（海面）	億円	140	17	148	-	-	148	22	生産額の上昇に繋がる単価のアップを図るべく、「徳島の活鱧ブランド確立集中キャンペーン」や「新鮮なっ！とくしま号」によるPR等のブランド化施策を実施。（19年度実績は20年度末頃、20年度実績は21年度末頃に判明）	農林
123	「ブランド農林水産物」の新技術開発数（累計）	件	8	17	9	10	14	17	22	たらのめ新品種等を確立し、新ブランド創出の基とした。	農林
124	実用化した新技術数（累計）	件	-	17	0	3	4	12	22	普及課題として位置づけた「県西部におけるたらのめ新品種の導入」等3課題のほか、ブロッコリーのスーパーセル苗について、県南地域において導入面積が拡大する等、生産現場において実用化されている。	農林
125	「手入れ砂代替技術」導入戸数（累計）	戸	44	17	64	140	190	500	22	JA等の関係機関と協議して、目標達成にむけて引き続き推進する。	農林
126	基幹用水路の整備延長	km	34	17	39	45	53	60	22	平成20年度は板野町・藍住町等で7.1km及び阿南市で0.9kmの計8.0kmの基幹用水路の整備が行われた。	農林
127	ほ場の整備率	%	63	17	63	65	66	66	22	平成20年度はパイプラインや区画整理により36haのほ場の整備が行われた。	農林
128	徳島県が関係する資源回復計画数	計画	1	17	1	2	2	2	22	平成20年3月に策定した「徳島県紀伊水道海域小型機船底びき網漁業包括的資源回復計画」の確実な実行を図るため、4月に関係漁業者と共に市場関係者に対する協力要請を行った。	農林

2 - 7 林業飛躍プロジェクトの推進

129	間伐材の搬出材積量	千m ³	34	17	61	68	80	100	22	新たな林業機械の導入等により約1万m ³ の増産が図られる見込みである。	農林
-----	-----------	-----------------	----	----	----	----	----	-----	----	---	----

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実 績 値 (18年度)	実 績 値 (19年度)					
130	「森のエキスパート（高能率間伐材搬出技術者）」育成者数（累計）	人	54	17	84	94	106	120	22	機械の導入と併せ、新たに森のエキスパートを12名育成する予定である。	農林
131	林内路網開設延長（累計）	km	5,426	17	5,577	5,756	5,896	5,900	22	平成20年度は、林道15km、作業道125kmの合計140kmの開設見込みである。	農林
132	高性能林業機械導入数（累計）	セット	9	17	15	18	21	30	22	平成20年度は3セットが新たに導入される見込みである。	農林
133	「県産木造住宅供給システム」による建築戸数	戸	127	17	148	139	-	150	22	県内外での展示会、セミナーを開催し、県産木造住宅の普及と需要拡大を図った。（20年度実績は21年5月頃判明）	農林
134	公共事業での県産木材使用量	m3	7,501	17	8,813	10,015	-	8,000	22	木材利用推進連絡協議会の開催、公共施設・工事等での木材利用を促進した結果、使用量が増加した。（20年度実績は21年5月頃判明）	農林
135	「徳島県木材認証制度」登録事業所数	事業所	-	17	142	165	168	200	22	制度のPRと事業所指導を実施するとともに、認証木材を利用した住宅への低利融資制度を創設するなど、制度の普及を進めた。（平成21年1月現在の数値）	農林
136	木質バイオマス利用実施例（累計）	件	9	17	11	11	11	14	22	平成20年度は協議会の実施などを通して業界への普及を図ってきたが、今後も導入に向けた働きかけを推進していく予定。	農林

基本目標3「環境首都とくしま」の実現

3-1 環境首都とくしま体制づくり

137	「環境首都とくしま創造センター」の開設		-	17	-	検討	検討	開設	21	21年度内の開設に向けて、検討を行った。	県民
138	「とくしま地球温暖化対策推進条例」の制定		-	17	-	検討	制定	制定	20	「徳島県地球温暖化対策推進条例」を平成20年10月に制定した。	県民
139	「環境首都とくしま憲章」の県民への浸透度	%	63.7	17	69.6	63.6	69.7	100	22	「環境首都とくしま憲章」の普及やこれに基づく自発的な取り組みを促進した。	県民
140	「とくしま環境学習サポートセンター（仮称）」の開設				-	検討	検討	開設	21	21年度までの開設に向けて、検討を行った。	県民
141	環境学習の新規実施（累計）	件	-	17	-	4	8	12	22	「とくしま環境学びプラン」に基づく環境教育・環境学習を実施した。	県民
142	環境アドバイザー派遣件数	件	24	17	36	34	55	45	22	事業者や環境団体に対して、環境アドバイザーを派遣した。	県民
143	「学校版環境ISO」認証取得校数	校	39	17	78	96	140	200	22	「学校版環境ISO」認証取得を通じて、各学校で環境保全活動を推進した。認定校数 10校、29校、39校、18校、44校	教育

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)					
144	企業の環境に配慮した取り組みを支援する研修受講者数(累計)	人	-	17	82	143	208	260	22	とくしま経営塾「平成長久館」事業としてISO14001に関する研修を実施し、受講者は順調に増加している。	商工
145	「地域版とくしま環境県民会議」の設置数	箇所	-	17	-	0	1	3	22	設置に向けた取り組みについて、関係団体に働きかけを行った。	県民
146	とくしま環境科学機構における共同研究数	研究	-	17	3	4	5	5	22	風力発電システムやバイオマスエネルギー等の環境技術に関する研究を行った。	県民
147	環境マネジメントシステムにおける環境目標の達成率	%	97.8	17	95.9	-	-	98	22	環境マネジメントシステムにより環境基本計画を効果的に推進するとともに、環境の視点を取り入れた各種施策の継続的改善を実施した。19年度実績は21年2月に判明の予定。	県民

3 - 2 地球環境にやさしい社会づくり

148	温室効果ガス排出量	千t	6,727	2	-	-	-	6,054	22	直近のデータである2005年の県内排出量は7,405千tとなっており、温室効果ガス排出量は基準年に比べて増加していることから、地球温暖化対策についてなお一層の取り組みを進める。	県民
149	新エネルギーの導入を促進する補助件数(累計)	件	-	17	3	4	4	6	22	新エネルギー利用地域モデル促進事業により、19年度は1件の補助金交付を行った。	県民
150	エコドライブなどを奨励する環境に配慮した事業所数	事業所	-	17	14	13	-	20	22	事業所におけるエコドライブや適正冷暖房等の省エネの取り組みを推進した。20年度実績は21年秋頃に判明の予定。	県民
151	県の事務及び事業に伴い排出される温室効果ガス総排出量				3.6%削減	9.4%削減	-	5%削減 (15年度比)	21	エコオフィスとくしま県率先行動計画(第3次)に基づき、取り組みを実践した。20年度実績は21年秋頃に判明の予定。	県民
152	地球温暖化防止活動推進員による県民への普及の活動回数	回	277	17	307	245	294	280	22	学校・地域等の活動に推進員を派遣し、地球温暖化防止の啓発に努めた。20年度実績は推計値。確定値は21年夏頃に判明の予定。	県民

3 - 3 美しく潤いのあるとくしまづくり

153	木製(間伐材)ガードレール等の設置延長(累計)	m	2,075	17	2,655	4,007	4,077	5,000	22	今年度、鳴門池田線(美馬市脇町)において70mの木製ガードレールを設置。	県土
154	汚水処理人口普及率	%	34.3	15	40.7	42.6	-	48	22	きれいな水環境の創造に向け、下水道事業を始め各種施策を推進している。なお、平成20年度末の実績は、21年8月頃に確定する見込み。	県土
155	徳島県景観形成指針				作業中	策定	策定	策定	19	景観づくりの主体である市町村が景観行政を推進していくよう、平成19年7月31日に徳島県景観形成指針を策定。	県土
156	景観行政団体数	団体	2	17	3	3	3	8	22	今年度末では、上勝町、三好市、那賀町が景観行政団体として登録済み。	県土

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)					
157	「とくしま風景街道」ルート数	ルート	-	17	0	2	3	3	22	平成20年11月、「美馬市まほろば夢街道」を登録。	県土
158	電線類を地中化した県管理道路の延長	km	7.0	17	8	8.5	8.5	8.5	22	平成19年度、常三島中島田線（徳島鴨島線）、元町沖洲線において整備が完了し、目標8.5kmを達成。	県土
159	公共施設緑化実施箇所	箇所	128	17	130	133	136	142	22	今年度、ボカリスエットスタジアム他2箇所の緑化が完了し、目標達成に向け順調に進捗。	県土
160	公園・緑地等における緑化面積	ha	149	17	151	172	179	181	22	今年度、南部健康運動公園1.6haが追加部分供用開始。	県土
161	公共下水道による処理人口	人	93,600	17	96,358	97,281	-	115,000	22	流域下水道事業を推進するとともに、市町が実施している公共下水道の早期供用を図っている。なお、平成20年度末の実績は、21年8月頃に確定する見込み。	県土
162	旧吉野川流域下水道（第1期計画）		整備中	17	整備中	整備中	供用開始	供用開始	20	平成20年度末供用開始に向け、順調に整備を進めている。	県土
163	公共下水道を供用している市町村数	市町村	6	17	6	6	12	13	22	新たに旧吉野川流域関連市町（鳴門市、松茂町、北島町、藍住町、板野町）、つるぎ町において供用を開始し、平成20年度末は、4市8町で供用予定。	県土
164	農山漁村の生活排水処理施設による処理人口	人	20,219	17	20,414	19,946	-	26,000	22	平成20年度は、美馬市、那賀町、美波町で集落排水事業を推進し、処理場及び末端管路の整備を図った。平成20年度実績は、21年8月頃に判明。	農林
165	合併処理浄化槽による処理人口	人	194,381	17	207,809	220,525	-	245,000	22	市町村が実施する合併処理浄化槽の整備に対し助成を行った。20年度実績は21年8月頃に確定する見込み。	県民
166	浄化槽法定検査受検率	%	33.4	17	37.2	37.6	-	48.0	22	浄化槽の適正な維持管理を推進するための普及啓発を実施した。20年度実績は21年6月頃に確定する見込み。	県民
167	河川の浚渫土量（累計）	m3	77,000	17	80,000	82,000	83,200	88,000	22	正法寺川等の浚渫を1,200m3実施した。	県土
168	掃海実施面積（累計）	km2	-	17	29	62	82	100	22	県内4市においてひき網漁船を用いて掃海を実施した。	農林

3 - 4 しっかり守るいい生活環境づくり

169	大気環境基準の達成状況（二酸化窒素）	%	100	17	100	100	-	100	22	テレメ - タシステム等により大気環境の常時監視を行った。20年度実績は21年9月頃に公表の予定。	県民
170	アイドリングストップ協力店の拡大	店舗	193	17	434	490	572	800	22	小売店舗に協力を求め、アイドリングストップを駐車場利用者に積極的に周知してもらえるアイドリングストップ協力店を拡大した。	県民

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
171	大気環境等の工場・事業場等の規制の適合状況	%	100	17	100	100	-	100	22	工場・事業場等に立入調査を実施し、必要に応じ指導を行った。20年度実績は翌年度当初に判明の予定。	県民
172	大気環境中アスベストの評価地点数	地点	11	17	11	13	15	17	22	20年度は定点の9地点と新規2地点(延べ15地点)で測定を実施。	県民
173	大気移動測定車を活用した大気環境測定調査市町村	市町村	14	17	16	19	21	全市町村	22	20年度は5市町村(延べ21市町村)で測定を実施予定。測定は順次実施中。	県民
174	自動車騒音の状況及び対策の効果等を把握するための評価区間	区間	17	17	24	39	59	99	22	20年度は20区間で評価を実施予定。測定は計画的に実施中。	県民
175	化学物質排出自主削減事業所数(累計)	事業所	11	17	25	29	32	35	22	化学物質自主管理促進の結果、徳島県全体としての化学物質排出量は減少傾向にあり、事業者における自主管理が着実に進んでいる。	県民
176	分析法開発数(累計)	件	-	17	1	3	4	5	22	液体クロマトグラフ質量分析装置による化学物質の分析方法を開発した。	県民
177	エコファーマー認定数(累計)	人	1,112	17	1,295	1,361	1,450	1,400	22	生産部会等集団での認定を推進し、目標を達成した。今後も、引き続き推進する。	農林
178	「徳島県有機農業推進計画(仮称)」の策定						策定	策定	20	環境への負荷の低減を図るため、有機農業の「県推進計画」を策定中。(H21.3月策定予定)	農林
179	第6次総量削減計画				-	策定	推進	策定	19	平成19年6月に告示した第6次総量削減計画の達成に向けて、各種発生源への立入調査を実施した。	県民

3 - 5 とくしま循環の「わ」社会づくり

180	リサイクル率(一般廃棄物)	%	18.9	17	19.7	-	-	26	22	リサイクル率は順調に向上しており、引き続きリサイクルを推進していく。19年度実績は20年度末に判明予定。	県民
181	リサイクル率(産業廃棄物)	%	55	15	-	-	-	59	22	リサイクル率は順調に推移しており、引き続きリサイクルを推進していく。調査は5年に1度行われる。20年度実績は21年度末に判明予定。	県民
182	「不法投棄等撲滅啓発リーダー」研修受講者数(累計)	人	-	17	113	216	316	500	22	中央部研修に50名、南・西部研修に各25名受講予定。	県民
183	環境物品等の調達率	%	68%~100%	17	79%~100%	77%~100%	-	100% (全分野)	22	文具類・OA機器をはじめとする17分野において、方針に基づいた調達を実施した。20年度実績は、21年秋頃に判明の予定。	県民
184	1人1日当たりのごみ排出量	g	1,014	17	1,002	-	-	889	22	ごみを少なくする配慮が浸透しつつある。引き続きごみ発生・排出抑制の普及啓発を推進していく。19年度実績は20年度末に判明する。	県民
185	使用済み農業用フィルム(各種ビニール類)回収率	%	69.6	17	67.1	64.2	-	85	22	排出者に適正処理についての周知徹底・意識啓発を図った。(20年度実績は21年夏頃に判明)	農林

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	見込値 (20年度)				
186	使用済み農業用フィルム(各種ビニール類)リサイクル率	%	92.1	17	95.3	100.0	-	94	22	排出者、処理事業者のリサイクル意識の向上を図った。(20年度実績は21年夏頃に判明)	農林
187	農山漁村の生活排水処理施設による緑農地還元率	%	62	17	62	52	-	80	22	美馬市、那賀町で集落排水事業を推進し、施設の整備を図っている。(平成20年度実績は、21年8月頃に確定する見込み)	農林
188	家畜排せつ物の堆肥化率	%	87	17	89	92	91	97	22	施設整備農家の廃業により整備率は低下したが、目標達成に向け、家畜排せつ物の処理を簡易な施設で対応している経営体に対し、処理施設整備を推進する。	農林
189	環境関連産業の立地を促進する貸付金・補助金制度の実施(累計)	件	1	17	1	1	1	2	22	17年度に1件の貸付及び補助金交付を実施。引き続き制度のPRに努め、目標達成を目指す。	県民
190	リサイクル製品の認定	製品	12	17	18	19	34	40	22	新規認定の見込みは15製品。引き続き新規認定の増大に向けた制度のPRと確実な認定更新の推進に努める。	県民
191	3Rモデル事業所の推進	事業所	9	17	14	16	20	25	22	新規認定の見込みは4事業所。引き続き新規認定の増大に向けた制度のPRと確実な認定更新の推進に努める。	県民
192	「循環型社会形成推進地域計画」の策定数	計画	-	17	1	2	3	5	22	20年12月に那賀町が計画(案)を作成し、現在、計画作成に向け、国、県と協議中である。	県民
193	企業との連携による不法投棄監視協力企業等(累計)	社・団体	-	17	2	5	7	10	22	20年度は新たに2社・団体と締結見込みである。	県民
194	「優良産業廃棄物処理業者認定制度」の創設				-	検討	検討	創設	21	21年度の創設に向け、現在制度案を検討中。	県民
195	産業廃棄物適正処理講習会受講者(累計)	業者	244	17	345	467	567	600	22	20年10月に講習会を開催し100名が受講した。目標達成に向け順調に進捗している。	県民
196	特別管理産業廃棄物適正処理講習会受講者(累計)	業者	-	17	73	189	292	延べ200	22	20年10月に講習会を開催し103名が受講した。目標達成に向け順調に進捗している。	県民

3 - 6 自然との共生とくしまづくり

197	希少野生生物保護巡視団体・個人等	団体・個人	-	17	-	30	29	25	22	19年度から実施している。20年度実績は28名、1団体。	県民
198	ニホンジカモニタリング調査				調査	調査	調査	調査	19 ~ 22	20年度調査分については、10月~11月にかけて調査を実施した。	県民
199	新規狩猟者の確保	人/年	149	17	125	93	98	180	22	講習会の開催など、新規狩猟者の確保を図った。	県民
200	ニホンジカ捕獲数	頭/年	2,041	17	2,175	2,468	-	3,800	22	個体数調整捕獲、有害鳥獣捕獲などの許可捕獲及び狩猟により捕獲を進めているが、20年度実績は21年夏頃に判明の予定。	県民

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)					
201	イノシシ捕獲数	頭/年	4,156	17	4,206	4,188	-	6,000	22	個体数調整捕獲、有害鳥獣捕獲などの許可捕獲及び狩猟により捕獲を進めているが、20年度実績は21年夏頃に判明の予定。	県民
202	自然を再生する事業の実施地区数	箇所	1	17	1	2	2	2	22	竹ヶ島海中公園自然再生事業は継続実施。剣山希少植物回復事業(防鹿柵整備事業)は19年度完了。	県民
203	「どんぐりプロジェクト」による育苗本数	本	0	17	-	13,000	8,000	40,000	22	民間の資金や人材の協力を基に育苗を進めている。	県民
204	集落等で取り組んだ鳥獣被害防止施設等の整備件数(累計)	件	129	15	230	252	260	260	22	鳥獣被害防止に向けた啓発普及などを行いつつ、防護柵の設置や捕獲檻の整備を推進し、目標を達成した。今後も引き続き推進する。	農林
205	新たなカワウ食害防除取り組み件数(累計)	件	-	17	0	6	6	10	22	カワウ飛来状況調査を実施した。	農林
206	外来種(アライグマ)調査				-	調査	推進	調査	19	19年度において、アライグマの基礎調査を実施。20年度において、被害防除打合会を実施した。	県民
207	登山道と四国のみちの再整備ルート数(累計)	ルート	-	17	2	3	4	5	22	18年度に四国のみち2ルート、19年度に剣山登山道1ルート、20年度四国のみち1ルートを整備。	県民
208	自然環境調査に基づく事業計画策定地区数(累計)	地区	23	17	30	36	40	43	22	平成20年度は、新たに自然環境に配慮した農業農村整備事業4地区(累計40地区)に着手した。	農林
209	藻場造成箇所数(累計)	箇所	-	17	1	4	4	6	22	鳴門地区において4箇所の藻場造成を完了した。また、平成20年度から阿南地区の藻場造成を進めている。	農林

3 - 7 未来を守るとくしま森林づくり

210	間伐実施面積(累計)	ha	7,062	17	14,276	21,765	28,765	30,000	22	約7,000haの間伐が実施できる見込みである。	農林
211	とくしま公有林化プロジェクト(とくしま絆の森事業)による森林の取得面積(累計)	ha	393	17	727	737	1,014	1,200	22	平成20年度は上勝町で約18haを取得するとともに、海陽町で約185ha、美馬市で約80ha取得する見込みである。	農林
212	複層林誘導面積(累計)	ha	206	17	516	906	1,206	2,800	22	平成20年度は約300haの森林を間伐等により複層林への誘導を図る予定である。	農林
213	保安林指定面積(民有林)	ha	92,005	17	92,758	92,947	94,000	94,000	22	保安林指定手続きは、毎年計画どおりに進み、目標を達成する見込である。	農林
214	森林整備地域活動において施業の集約化に取り組む実施協定数(累計)	協定	-	17	-	8	15	17	22	ほぼ計画に沿って推移しているが、他市町村でも取組を進める。	農林

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	部 局
			年度	年度				年度	年度		
215	環境に配慮した森林の認証取得面積(累計)	ha	-	17	1,065	5,715	6,616	8,000	22	制度のPRや森林現況調査を実施(20年度は12月末までに2団体901haで認証取得)	農林
216	地籍調査事業の実施市町村数	市町村	18	17	18	19	19	21	22	平成20年度は、継続地区の進捗を図った。	農林
217	企業等による森づくり件数(累計)	件	2	17	5	7	8	10	22	森づくりに係るPR活動を行い、平成20年度は那賀町において企業による森づくり活動が行われた。	農林
218	県民参加による植樹など森づくり件数(累計)	件	-	17	2	3	4	5	22	「県民参加による森林づくり」として、吉野川市においてボランティアによる植樹活動を実施した。	農林

基本目標4「安全・安心とくしま」の実現

4-1 安全・安心とくしま体制づくり

219	被災建築物応急危険度判定士	人	579	17	609	594	594	600	22	平成20年9月1日に阿南市で開催された徳島県総合防災訓練に参加し、建築物の実物大模型を使用して危険度判定の訓練を行った。	県土
220	被災宅地危険度判定士	人	171	17	210	252	288	340	22	被災宅地危険度判定士の育成講習会を平成20年12月17日、18日に開催。	県土
221	情報ネットワーク基盤の確保				未整備	整備	運用	整備	19	平成20年3月に整備。平成20年度から本格運用し、災害時にも県民へのホームページによる情報提供を継続的に行う。	危機
222	災害時等応急対策関係者会議の設置				未設置	設置	運営	設置	19	平成20年2月に設置し、災害発生時の応急対策に重要な役割を果たすライフライン事業者等との連携強化を行った。また、平成20年7月に会議を開催した。	危機
223	「消防広域化推進計画」の策定				未策定	策定中	策定	策定	19	平成20年8月15日「徳島県消防広域化推進計画」を策定した。	危機
224	水防情報伝達システムの拡充				-	更新に着手	完了	システム 全面更新	19	水防情報伝達システムの更新・改良工事に着手し、平成20年度に完成。	県土
225	河川の水位局数	局	58	17	58	58	60	98	22	平成20年度は、新たに水位観測局を2局設置。	県土
226	潮位情報提供システムの整備				-	仕様検討	関係機関 調整	整備	21	潮位情報システム構築に向け、その役割分担などについて、関係機関と調整を行った。	県土
227	浸水想定区域の指定河川数	河川	-	17	4	7	11	11	22	平成20年度は、貞光川、那賀川、福井川、日和佐川の4河川を指定。	県土
228	土砂災害ハザードマップ等による防災意識啓発箇所数	箇所	-	17	57	200	800	1,900	22	徳島市眉山町地区他約600箇所地元説明会を開催し、防災意識啓発を行った。	県土

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	見込値 (20年度)				
229	「広域防災活動計画」の作成				未作成	作成	検証	作成	19	平成20年3月に作成。平成20年9月の総合防災訓練の場で検証するなど、防災体制のより一層の充実に努めた。	危機
230	「徳島防災情報ポータルサイト」の整備				未整備	整備	運用	整備	19	平成20年3月に整備。平成20年6月にホームページ「安心とくしま」として供用開始。同時にインターネットラジオ番組「防災とくしまポッドキャスト」の配信も開始した。更に11月から、携帯電話版「安心とくしま」の供用も開始し、コンテンツの充実に努めている。	危機
231	「全国瞬時警報システム」の整備				未整備	整備	運用	整備	19	平成20年3月に運用開始し、迅速・的確な初動体制の確保を図った。また、平成20年4月、12月にシステムを活用した緊急地震速報発表時の対応訓練を実施した。	危機
232	「徳島県職員災害応援隊」の結成・運用				-	-	結成・運用	結成・運用	20	平成20年10月に結成し、被災市町村等への迅速な県職員の応援派遣や現地の被災状況に応じた的確な応急対策活動を支援する体制を整えた。	危機
233	災害発生時における「総合情報通信ネットワークシステム」の再整備		実施設計	17	整備中	整備完了	運用	整備完了	19	平成20年3月に整備工事完了し、災害発生時における被災情報等の迅速な収集と的確な災害対応を行う。	危機
234	防災センター利用者数（累計）	人	76,390	17	103,346	131,390	161,390	300,000	22	防災に関する体験学習、研修の場としての防災啓発施設として、利用者は増加傾向にある。	危機
235	南部防災拠点施設の整備				-	基本構想策定	実施設計等の実施	完成	22	平成20年度は実施設計等について実施した。	危機
236	耐震相談件数（累計）	件	560	17	633	725	800	1,150	22	平成20年度は75件の相談見込みである。今後は、市町村での広報を依頼する等、広報活動を強化する。	県土
237	「第5次徳島県保健医療計画」及び新たな「徳島県健康増進計画」の策定		-	17	-	策定	推進	策定	19	平成20年3月26日策定。冊子及び概要版を作成、配布し、推進中。	保健
238	「徳島県がん対策推進計画」の策定		-	17	-	策定	推進	策定	19	策定した計画に基づき事業を展開	保健
239	「健康とくしま憲章」の制定・推進					制定	推進	推進	20	平成20年3月26日制定。啓発チラシを作成・配布、パネルを保健所に送付、無料貸出。	保健

4 - 2 とくしま - 0 (ゼロ) 作戦の展開

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
240	南海地震発生時における最大死亡者数	人	4,300		-	-	-	0	-	「徳島県地震防災対策行動計画」(平成17年度策定、平成20年10月改善見直し)に基づき、南海地震対策の推進に努めた。	危機
241	県有防災拠点施設等の耐震化率	%	34	17	50	55	62	70	22	平成18年度に策定した「防災拠点等となる県有施設耐震化計画」に基づき、計画どおりに改修工事が着手されている。	危機
242	木造住宅耐震診断の実施戸数(累計)	戸	2,144	17	2,657	3,472	4,373	10,000	22	市町村と協力し、戸別訪問や押しかけ講座等の「耐震診断重点啓発事業」をより充実して展開し、前年比較で1割の増となる901戸(20年12月末現在)の耐震診断を実施。	県土
243	自主防災組織率	%	56.8	17	65.2	72.1	80.0	100	22	寄り合い防災講座や補助金等による支援により、自主防災組織の結成・活動活性化に努めている。	危機
244	4県(三重県・和歌山県・徳島県・高知県)自主防災組織交流大会の開催				-	開催	-	開催	19	平成20年1月に県郷土文化会館を会場に、4県の自主防災組織関係者等が一堂に会し、地震防災に関する情報共有や意見交換等を行い、地域防災力の強化を図った。	危機
245	地域防災推進員養成研修会受講者数(累計)	人	54	17	108	228	417	300	22	自主防災組織の立ち上げや地域の防災活動に取り組む地域の防災リーダー「地域防災推進員」の養成に努めた。	危機
246	寄り合い防災講座の開催				154	224	226	年200回開催		市町村との協働や各種啓発により、目標値を達成。	危機
247	「南海地震対策推進パートナー」の育成	人			-	-	256	300	22	平成20年9月にパートナー応募者への集合研修を圏域ごとに実施した。	危機
248	災害ボランティアリーダー等育成講習会参加者数(累計)	人	1,199	17	1,665	1,900	2,214	3,000	22	防災センターを拠点に研修会等を開催するなど、災害ボランティアリーダー等の育成に努めた。	危機
249	県西部圏域の孤立化対策の手引き書の作成				-	-	作成・推進	作成・推進	20	美馬市木屋平地区において孤立化対策研修会やワークショップ、孤立を想定した訓練などを開催し、その成果を基にした孤立化対策の手引き書の作成・普及啓発により地域防災力の強化を図った。	企画
250	津波避難困難地域を解消するための補助制度		単独補助制度の創設	18	-	促進	促進	津波避難施設等の整備	20	国庫補助制度を活用し、市町が実施する避難施設等の整備を促進し、津波避難困難地域の解消に努めた。	危機
251	木造住宅耐震改修等への支援(累計)	戸	82	17	169	266	361	県民ニーズに100%対応	19~22	県内全市町村が事業に取り組み、県民の要望には全て対応できた。今年度、95件(20年12月末現在)の改修等の支援を行った。	県土
252	県立高等学校施設耐震化率	%	31	17	42	45	56	75	22	県立学校施設の耐震改修は9校で完了。改築は7校で完了、1校で実施中。	教育

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実 績 値 (18年度)	実 績 値 (19年度)					
253	都市公園施設の防災拠点施設等の耐震化率	%	50	17	50	70	70	70	22	平成20年度、弓道場の耐震診断を実施。	県土
254	災害拠点病院の整備	病院	8	17	8	9	9	9	19	訓練、研修等により、個々の災害拠点病院の機能強化と消防機関等との連携強化に努めた。	保健
255	災害拠点病院等における医療救護班の整備	チーム	1	17	2	7	11	14	22	平成20年度は、3チームが国のDMAT（災害派遣医療チーム）研修を受講した。	保健
256	海岸堤防の耐震調査の実施海岸数	海岸	-	17	1	7	7	7	22	平成19年度、内妻、那佐海岸他4海岸の調査が完了した。	県土
257	海岸保全施設整備海岸数	海岸	4	17	5	5	6	6	22	日和佐港海岸が平成20年度新規事業採択。	県土
258	地震防災対策行動計画に基づき実施する緊急輸送道路(延長24km)の改良率	%	-	17	15	56	61	100	22	国道438号上八万バイパス・上分バイパスが部分供用。	県土
259	県管理の緊急輸送道路における要耐震橋梁の耐震化率	%	89	17	91	94.6	95.1	100	22	平成20年度末時点で、国道492号宮内橋(美馬市)の対策完了。	県土
260	浅川港浅川地区耐震物揚場の進捗率	%	-	17	42	59	79	100	20	平成18年度に耐震物揚場の整備に着手し、今年度は整備を促進。引き続き平成21年度の概成に努める。	県土
261	南部健康運動公園(防災機能を持ったオープンスペース)の整備【再掲】		整備中	17	整備中	多目的広場 完成	管理棟完成	多目的広場 を含むテニスコート エリアの整備完了	22	テニスコートエリアのうち、テニスコート4面が進捗し、管理棟の整備が完了。	県土
262	防災のための図上訓練の実施				1	1	1	年1回開催		平成21年1月16日に、災害時支援協定締結機関との調整会議や国の活動要領に基づく応援の受け入れ体制の検証などを行う県図上訓練を実施した。	危機

4 - 3 自然災害・安心県土づくり

263	重点整備河川の整備率	%	66	17	71	71	73	81	22	河川の拡幅に伴い、飯尾川で橋梁の架け替えを2橋実施中。福井川、桑野川では堰の改築を進めている。	県土
264	角ノ瀬排水機場(徳島市)の新設		整備中	17	整備中	整備中	完成	完成 (20m ³ /s)	20	頻発する内水被害を早期に軽減するため、国土交通省により整備が進められ、平成20年度に完成。	県土
265	川島排水機場(吉野川市)の改築		改築中	17	改築中	改築中	改築中	完成 (18m ³ /s)	21	頻発する内水被害を早期に軽減するため、平成21年度完了を目指し、国土交通省が改築を促進。	県土
266	長安口ダムの改造				-	事業着手	整備促進	事業着手	19	那賀川の治水・利水安全度の向上を図るため、平成19年度から国直轄事業として長安口ダム改造に事業着手し、平成20年度は堆積土砂の除去等を実施。	県土

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	見込値 (20年度)				
267	大津田排水機場(阿南市)の新設		整備中	17	整備中	完成	完成	完成 (10m ³ /s)	19	頻発する内水被害を早期に軽減するため、国土交通省により整備が進められ、平成19年度に完成。	県土
268	水門・排水ポンプ場等の整備及び更新箇所数	箇所	8	17	10	12	12	13	22	残る1箇所の着工時期を検討している。	県土
269	海岸侵食対策事業整備箇所数	箇所	4	17	5	5	5	6	22	今津坂野海岸で大規模突堤の整備を進めている。	県土
270	漁港海岸施設整備箇所数	箇所	-	17	2	2	2	5	22	瀬戸小島田及び中林で整備が完了した。	農林
271	ダム管理施設の更新箇所数	箇所		17			事業着手	1	22	正木ダム情報処理設備等の改良に着手し、平成20年度はシステム検討を実施。	県土
272	土砂災害の危険性のある人家の保全数	戸	20,100	17	20,600	21,200	21,700	21,900	22	鳴門市宿毛谷川他33箇所の整備を完了し、約500戸を保全した。	県土
273	地域高規格道路阿南安芸自動車道(日和佐道路延長9.3km)の供用率【再掲】	%	- (工事着手5.9km)	15	6.2km 概ね完了	67	67	67% (一部供用6.2km 残区間工事展開)	22	平成19年5月12日に、由岐IC~美波町北河内間6.2kmが開通。	県土
274	一般国道32号猪ノ鼻道路(延長8.4km)の整備【再掲】		調査中	17	調査中	用地交渉・ 工事に着手	用地交渉・ 工事を促進	工事施工中	22	用地交渉・工事を促進。	県土
275	一般国道32号改築防災(大歩危工区延長2.5km)の整備		調査中	17	調査中	用地交渉に 着手	用地交渉を 促進	工事施工中	22	用地交渉を促進。	県土
276	生命線道路の強化率(10箇所)	%	29	17	32	39	51	50	22	異常気象時の孤立予防対策として、生命線道路の整備を促進しており、目標50%を達成予定。	県土

4 - 4 とくしま食の安全安心ブランドの推進

277	とくしま安2農産物認証件数(累計)	件	13	17	34	40	50	60	22	平成16年度に創設した制度であり、認定件数は増加している。制度周知のため、さらなるPRを実施する。	農林
278	食の安全・安心県民会議・シンポジウム参加者数(累計)	人	463	17	771	1,054	1,300	1,500	22	食に関するシンポジウムの開催等により、参加者数は、目標達成に向け、順調に推移している。	危機
279	「食の知」向上人材育成事業への参加者数(累計)	人	-	17	97	709	1,235	800	20	「食の安全・安心カレッジ」、「とくしま食のあんあんキッズカレッジ」及び「食の知お届け講座」の開催等により、参加者数は、目標を達成した。	危機
280	リスクコミュニケーターの延べ人数	人	-	17	55	86	103	100	20	「リスクコミュニケーター育成講座」の開催により、リスクコミュニケーターの延べ人数は、目標を達成した。	危機

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績 見込値 (20年度)	目 標 値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実 績 値 (18年度)	実 績 値 (19年度)					
281	B S E 全頭検査		実施	17	実施	実施	実施	継続実施		平成13年10月18日よりBSE全頭検査を継続実施。	保健
282	全畜産農家の立入検査				全戸	全戸	全戸	継続実施		高病原性鳥インフルエンザの発生予防等のため、全畜産農家を対象に飼養衛生管理基準の徹底指導を実施。	農林
283	安全・安心のための新しい技術開発数 (累計)	件	-	17	2	2	5	5	22	イチゴ病害の遺伝子診断技術等、安全安心な生産技術の開発。	農林
284	I P M 実践モデル地区数 (累計)	地区	-	17	-	2	3	8	22	IPM実践指標を充実させ、目標達成にむけて引き続き推進する。	農林
285	食品の適正表示率	%	92.4	17	93.7	94.4	94.4	95	22	消費者による食品表示監視体制を整えるとともに、食品表示適正化推進員の育成を図り、事業者自らの適正表示を推進している。	農林
286	計画に基づく重点的監視指導		実施	17	実施	実施	実施	継続実施	19 ~ 22	「食品衛生監視指導計画」に基づき、食品の製造から販売までの各段階における監視指導を実施している。	保健

4 - 5 とくしま安心くらしづくり

287	県立中央病院と徳島大学病院の連携による外来・入院・研修研究拠点機能の再編				施設の建設・運営について合意	協議及び連携実施	協議及び連携実施	22までに実施	22	施設・設備面の施工及び維持管理について協議を行うとともに、両病院のソフト面での各種機能連携の検討を進めた。	病院
288	地域医療研修の参加者数 (累計)	人	-	17	24	54	79	100	22	平成20年8月に夏期地域医療研修を開催し、25名の医学部生が研修に参加した。	保健
289	県立中央病院の改築のための設計及び建築工事		基本設計	17	実施設計	実施設計	実施設計	概成	22	実施設計を進めるとともに、改築予定地の水路付け替え工事、埋蔵文化財調査等を行い、平成22年度の概成を目指した取り組みを進めた。	病院
290	災害拠点病院の整備【再掲】	病院	8	17	8	9	9	9	19	訓練、研修等により、個々の災害拠点病院の機能強化と消防機関等との連携強化に努めた。	保健
291	災害拠点病院等における医療救護班の整備【再掲】	チーム	1	17	2	7	11	14	22	平成20年度は、3チームが国のDMAT(災害派遣医療チーム)研修を受講した。	保健
292	救急医療連携体制の構築		-	17	-	医療計画に位置づけ	構築推進	19医療計画に位置づけ 20構築推進		「徳島県保健医療計画」(平成20年3月策定)に安全で質の高い救急医療体制の充実・強化を位置づけ、推進中。	保健
293	消防防災ヘリに「ドクターヘリ機能」を導入				-	検討中	導入	導入	20	平成20年8月1日、消防防災ヘリコプターに「ドクターヘリ機能」による運用を開始した。	危機
294	がん診療連携拠点病院の整備	病院	3	19	-	3	3	6	22	新たな2病院ががん拠点病院を目指し整備中	保健

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	部局
295	小児救急医療拠点病院の整備	病院	1	17	1	1	1	2	22	現在、唯一の小児救急医療拠点病院である徳島赤十字病院のほかに、県内にもう1箇所の整備を目指しているが、平成20年度においては整備に至っていない。	保健
296	小児救急電話相談事業の実施	日	-	17	-	実施	365	365	20	平成19年6月に土日祝日・年末年始の運用で開始した。平成20年4月からは相談日を毎日に拡大している。	保健
297	周産期死亡率（出産千人当たり）	人	5.7	17	4.1	4.0	-	4.8	22	徳島大学病院の「総合周産期母子医療センター」を中心に、引き続き、「周産期医療システム」の体制整備を進めた。（平成20年実績は平成21年10月頃に公表される予定）	保健
298	院内における医療事故等分析体制を整備している病院数	%	39.0	17	39.0	52	-	100.0	22	県内すべての病院119箇所に立入検査を実施し、医療事故等分析体制の現状を確認するとともに、未整備病院については整備の促進を行っている。なお、20年度実績は、21年6月頃に判明予定。	保健
299	自治医科大学の単年度入学者	人	2	17	3	2	2	3人確保	22	早期に3人入学が確保できるよう、多くの優秀な受験生の確保に努めるとともに関係先への要望活動等に取り組んだところであり、今後も一層の推進を図る。	保健
300	徳島県と徳島大学による地域医療の共同研究の創設		-	17	-	創設	推進	創設	19	平成19年10月から共同研究を実施している。	保健
301	薬事監視率	%	23	17	28	27	29	32	22	年度末までにさらに監視を計画しており、目標達成に向け、順調に推移している。	保健
302	400ml献血率（全血献血）	%	71	17	82	95	98	84	22	400ml献血の推進を図るため、徳島県赤十字血液センターと連携し、普及啓発を行った結果、着実にその効果を上げている。	保健
303	「くらしのサポーター」のうち、月1回程度は活動する者の人数	人	-	17	34	46	78	150	22	「くらしのサポーター」の活動発表会、研修会を実施し、ネットワーク構築を推進している。	危機
4 - 6 みんなでつくろう！健康とくしまづくり											
304	糖尿病の標準化死亡比		全国最下位	17	男性最下位 女性46位	-	-	全国最下位 からの脱出	19 ~ 22	健康とくしま応援団や阿波踊り体操、ヘルシー阿波レシビの普及啓発などの「健康とくしま運動」の全県展開を推進してきたものの、男性は全国最下位、女性は46位。（H19年実績はH21年4月頃に判明予定） 粗死亡率は 全国41位（平成20年実績は平成21年6月に概数、9月に確定数判明予定）	保健

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
306	五大がん、子宮がんに関する地域連携クリティカルパスの整備	病院	2	19	-	2	3	4	22	がん診療連携拠点病院の3病院にて素案を作成中	保健
307	がん検診受診率の向上	%	20.0	19	-	20.0	-	38.0	22	市町村、事業所等を含めた県全体の受診率を調査中。(平成20年度実績は、21年6月頃判明予定)	保健
308	健康とくしま応援団への加入数(累計)	事業所	27	17	297	544	626	700	22	保健所を中心に普及啓発に取り組んだ結果、順調に増加。H20.12.12現在。	保健
309	「阿波踊り体操」の普及事業所数(累計)	事業所	-	17	111	212	245	300	22	順調に増加。H20.12.12現在。H20.4.1~健康とくしま応援団にDVD配付事業所 33か所。	保健
310	介護予防リーダーの養成者数(累計)【再掲】	人	-	17	0	109	257	400	22	県内4カ所で介護予防リーダー養成研修を開催し、介護予防リーダーを148名養成した。	保健
311	3歳児の一人平均う歯数	本	1.43	17	1.38	1.36	-	1.2本以下	22	フッ化物塗布推進などにより乳幼児のう歯予防に取り組んだ。(平成20年度実績は平成21年11月頃判明予定)	保健
312	医療機関内におけるSARSによる二次感染者数	人	0	17	0	0	0	ゼロに抑える	19~22	医療機関内におけるSARSによる二次感染者は発生していない。	保健
313	抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」の備蓄	人分	-	17	34,000	68,000	68,000	68,000	19~22	目標値の68000人分を備蓄済み。	保健

4 - 7 とくしま体感治安向上プロジェクトの推進

314	地域自主防犯活動団体の活動地域数	地区	60	17	92	107	111	159地区(全地域)	22	推進大会の開催及びリーダー研修の実施により、活動地域数の増加に努めている。	危機
315	刑法犯認知件数	件	9,655	17	9,111	8,518	8,455	17年対比で抑止(減少)	22	街頭犯罪及び侵入犯罪抑止総合対策等の取組みを実施した結果、17年対比で12.4%減少した。(数値は暦年)	警察
316	交通事故による死者数	人	68	17	63	58	42	50人台前半以下	22	道路交通法が施行された昭和35年以降最も少なかった平成16年、19年の58人より更に減少し、目標を達成した。(現況・実績・目標値とも暦年)	警察
317	自主防犯活動用自動車台数	台	15	17	126	245	325	300	22	目標を達成。更なる拡充に向けた支援を継続。(現況・実績・目標値とも暦年累計)	警察
318	街頭犯罪発生件数	件	3,366	17	3,408	2,943	2,741	17年対比で抑止(減少)	22	犯罪分析に基づく街頭犯罪及び侵入犯罪抑止総合対策を実施した結果、17年対比で18.6%減少した。(数値は暦年)	警察

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績 見込値 (20年度)	目 標 値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実 績 値 (18年度)	実 績 値 (19年度)					
319	侵入窃盗の発生件数	件	772	17	574	465	460	17年対比で 抑止(減少)	22	犯罪分析に基づく街頭犯罪及び侵入犯罪抑止総合対策を実施した結果、17年対比で40.4%減少した。(数値は暦年)	警察
320	県内中高生の薬物事犯検挙者数	人	0	17	0	0	0	0	22	平成20年度徳島県薬物乱用対策事業推進方針に沿って、関係機関及び団体と連携し、取締りや啓発活動に取り組み、県民の意識向上を図った。(設定数値は、暦年であり、実績値は11月現在)	保健
321	犯罪被害者支援連絡協議会の開催回数	回	6	17	5	13	15	15回(各警察署及び県全体会議)	22	各警察署及び県全体会議を計画的に開催しており、20年度中に目標値を達成する予定である。	警察
322	シートベルト着用率	%	88.8	17	93.8	94.0	94.3	95%以上	22	平成20年中の着用率は94.3%で、年々向上しており、17年対比で5.5ポイント上回っている。	危機
323	「飲酒運転撲滅月間(12月)」の創設				-	創設	継続	創設	19	平成19年12月に「飲酒運転撲滅月間」を創設し、20年度においても県民総ぐるみによる飲酒運転撲滅運動を展開した。	危機
324	撲滅宣言協力店数	店	-	17	4,587	5,057	5,620	5,000	20	酒類提供店等に対して、再度の協力を求めるなど目標値を達成した。	危機
325	車両用LED式信号灯器の割合【再掲】	%	17	17	22	27	32	35	22	約400灯を計画的に整備した。	警察
326	幅3m以上の歩道を必要とする県管理道路における歩道設置率【再掲】	%	62	17	65	70	71	73	22	補助及び県単独事業において、順調に進捗中。	県土

基本目標5 「まなびや、とくしま」の実現

5 - 1 「まなびや、とくしま体制づくり

327	本県教育の指針となる新たな計画				未策定	策定中	策定・推進	策定・推進	20	徳島県教育振興審議会(平成19年10月から平成20年9月までの間に6回開催)における審議、パブリックコメントの実施(平成20年6月)など、計画の検討を進めた。9月の審議会答申を踏まえ、10月に「徳島県教育振興計画」を策定した。	教育
328	次世代育成行動計画の策定・推進(前期計画)		策定	16	推進	推進	推進	推進	21	「徳島はぐくみプラン」に基づき、プラン関連事業をはじめとする少子化対策を推進している。	保健
329	次世代育成行動計画の策定・推進(後期計画)		検討	20	-	-	検討	策定	21	平成22年度からの後期計画を平成20年度に検討し、21年度に策定する。	保健

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実 績 値 (18年度)	実 績 値 (19年度)	見 込 値 (20年度)				
5 - 2 未来に「はばたく力」育むとくしま教育づくり											
330	少人数学級（35人を上限とする学級編制）の拡大		小学校1・2年に導入	17	小学校1・2年に導入	小学校1・2年に導入	中学校1年に新規導入	中学校1年に新規導入	20	全ての小学校1・2年及び中学校1年で実施した。 小学校1年生 16校16学級 小学校2年生 14校14学級 中学校1年生 19校19学級	教育
331	スクールカウンセラーの全公立小・中学校への配置	校	193	17	228	全校配置	全校配置	全校配置	19	いじめ・不登校など児童生徒の多様な悩みに対応するため、スクールカウンセラーを全公立小・中学校に配置した。	教育
332	学力向上に関するHPを開設している学校の割合	%	9.9	17	38.6	54.7	—	100	22	各学校の「学力・学習状況」改善プラン及び取組の達成状況の掲載を促し、20年度末に判明する予定である。	教育
333	幼児・児童生徒及び教職員の読書冊数（累計）	冊			5,566,023	11,903,969	14,886,971	1,000万冊	18～20	県内公立幼稚園、小・中・高・特別支援学校の幼児・児童生徒及び教職員が参加し、取組2年目にして目標を達成した。年度末に3年間の読書冊数を集計する。 (平成20年9月末時点)	教育
334	一定規模以上の学級を有するすべての小・中学校に少人数指導のための追加教員を配置		-	-	25人以上の学級で継続実施	25人以上の学級で継続実施	25人以上の学級で継続実施	25人以上の学級で継続実施	19～22	25人以上の学級で引き続き実施した。 小学校 114校192名を配置 中学校 67校109名を配置	教育
335	スクールソーシャルワーカー数	人	-	17	0	4	5	3	22	5人のスクールソーシャルワーカーを派遣できる体制を整備した。	教育
336	栄養教諭の配置市町村数【再掲】	市町村	-	17	8	16	全市町村	全市町村	20	H18から計画的に配置を進めている。 栄養教諭の配置 8市町 16市町 全市町村	教育
337	「中高一貫教育」の全県展開	校	2	18	2	2	2	3	22	「中高一貫教育研究会議」を設置（平成20年7月から8月にかけて3回開催）し、中高一貫教育の概要について検討するなど、平成22年度の富岡東高校への導入による併設型中高一貫教育の全県展開に向けた準備を進めた。	教育
338	「オンリーワンハイスクールパワーアップ事業」実施校（累計）	校	-	17	未実施	16	26	30	21	平成20年度は10校が実施校として事業に取り組み、年度末には生徒活動発表会を実施した。	教育
339	ICTを活用した授業実践の研修参加者数（累計）	人			136	247	510	800	19～22	ICTを活用した授業実践についての教員研修（18講座）を実施した。	教育
340	高校再編の計画策定	地域	-	17	0	2	5	7	19	地域の知恵を活かしながら、県下7地域で高校再編を進めた。新たに3地域で再編の計画を策定し5地域で策定済となった。残る2地域についても、地域の実情を踏まえた協議を進めているが、その取りまとめに時間を要している。	教育

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	見込値 (20年度)				
341	徳島科学技術高校の設置				-	準備	準備	開校	21	高度情報化などの様々な社会の変化や科学技術の高度化・複合化に対応できる人材を育成することを目指す新しいタイプの高校として、平成21年4月に開校予定の「徳島科学技術高校」の校舎改築・備品整備などの開校準備を進めた。	教育
342	巡回、通級による指導、ボランティアによる支援等	校	未実施	17	未実施	5	7	全県で推進	22	「巡回、通級による指導」実施校7校 「ボランティアによる支援」実施校7校	教育
343	「個別の指導計画」を作成している小・中学校の割合	%	27	17	30	59	84	100	22	リーフレット「個別の指導計画を作成するために」を小中学校の全職員に配布し、「個別の指導計画」の作成を推進した。	教育
344	高等養護学校の整備				未整備	-	-	着工	22	平成22年度の着工に向け、平成20年度は「高等養護学校基本・実施設計」に着手した。	教育

5 - 3 地域とともに歩む学校づくり

345	「コミュニティ・スクール」モデル校数(累計)	校	-	17	0	2	5	10	22	本年度4月には、阿部小学校、由岐中学校阿部分校、加茂小学校の3校がコミュニティ・スクール推進事業の調査研究の委嘱を受け研究に取り組んだ。また、「コミュニティ・スクール」設置の可能性のある市町村教育委員会との協議を進めた。	教育
346	学校評価結果(前年度分)の公表率(小・中・高校)	%	43	17	43	55	62	80	22	学校評価の実施と結果の公表が、早期に全ての学校で行われるよう機会を捉えて働きかけた。	教育
347	「放課後子ども教室」実施数	教室	-	17	-	39	55	60	22	県内5市7町において55カ所で実施した。	教育
348	「学校支援地域本部事業」設置市町村数	市町村	-	17	-	-	5	8	22	県内3市2町に6本部を設置した。	教育
349	県立高等学校施設耐震化率【再掲】	%	31	17	42	45	56	75	22	県立学校施設の耐震改修は9校で完了。改築は7校で完了、1校で実施中。	教育
350	防災教育推進モデル校の指定(累計)	校	6	17	12	18	21	24	22	ゾーン別にモデル校を指定し、防災教育の充実に取り組んだ。	教育
351	学校安全ボランティア(スクールガード)活動の実施				全小学校区で実施	全小学校区で継続実施	全小学校区で継続実施	全小学校区で継続実施	19~22	全小学校区で引き続き実施した。	教育

5 - 4 学び立県とくしまづくり

352	「徳島県立総合高等学校」の創設				-	検討	開校	開校	20	平成20年3月に策定した基本構想に基づき、6月1日に「徳島県立総合高等学校」を開校した。	企画
-----	-----------------	--	--	--	---	----	----	----	----	--	----

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)					
353	「とくしまネットワーク図書館」の構築		-	17	-	検討	計画策定	構築	22	ネットワーク図書館を構築するため、ICT技術活用等について情報を収集し、基本計画の策定を行った。	教育
354	生涯学習情報システムへのアクセス件数	件	93,384	17	191,463	519,806	410,000	500,000	22	県内の生涯学習関連施設との連携により収集した生涯学習情報をデータベース化し、インターネットにより提供した。	教育
355	「とくしま学博士」認定制度の創設		-		-	-	創設	創設	20	地域における生涯学習のリーダーとして、また総合大学の講師やスタッフとして運営を担っていただく「とくしま学博士」の認定制度を創設した。	企画
356	読書活動を推進するイベントへの参加者数(累計)	人	803	17	1,209	2,156	3,248	3,000	22	県事業のほか、文部科学省委託事業や、ボランティアによる「おはなし会」を実施した。	教育
357	地域教育力再生コーディネータ養成講座受講者数(累計)	人	-	17	82	123	164	282	22	「子どもの学びの場づくりコーディネーター研修」コースを設置し、6日間の実践的な講座を開催した。	教育
358	教育・産業連携キャリアアップ実践校数(延べ数)	校	-	17	4	7	10	9	20	平成19年度は県立高校3校を指定校として事業を実施し、高校生の望ましい勤労観・職業観、進路選択能力の育成に努めた。	教育
5 - 5 未来を拓く青少年づくり											
359	「青少年センター」の整備・充実		検討	17	検討	検討	整備	運用	22	PFI事業契約に基づき青少年センターの再編整備・耐震改修に向けた基本設計・実施設計を実施した。	県民
360	指導者養成講座参加者数(累計)	人	80	17	172	217	320	400	22	青少年活動に対する知識・技術の習得を図り、青少年リーダーの育成を促進した。	県民
361	青少年非行防止メッセージ事業参加者数(累計)	人	15	17	38	57	69	90	22	非行防止について、青少年自身がメッセージを発信することにより、県民の理解と認識を深めた。	県民
362	「防ごう！少年非行」県民総ぐるみ運動参加者数(累計)	人	700	17	1,400	2,100	2,800	3,400	22	街頭啓発や大会の開催により、青少年の非行防止・健全育成について、社会の気運を醸成した。	県民
363	少年の日事業参加者数(累計)	人	1,170	17	2,415	4,697	6,800	7,000	22	異年齢の集団活動などを通じて、青少年の自立心と社会性の育成を図った。	県民
364	徳島県若年者就職サポートセンターを活用した就職件数(累計)【再掲】	人	829	17	1,396	1,929	2,326	3,000	22	徳島公共職業安定所学生職業相談コーナーを併設し、職業相談から職業紹介までの雇用関連サービスを1箇所提供していることから、就職件数は順調に推移している。(20年度数値は11月末時点の実績値)	商工
365	徳島県若者サポートステーションにおける相談件数(累計)【再掲】	件	-	17	411	1,242	1,955	2,000	20	キャリアコンサルタントなど専門家によるきめ細やかな相談を実施していることから、相談件数は順調に推移している。(20年度数値は11月末時点の実績値)	商工

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実績	目標値	年度	進捗状況の説明	部局
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	見込値 (20年度)				
5 - 6 子どもを育てるなら “とくしま,, づくり											
366	「出逢いきらめきセンター」会員団体登録数	団体	-	17	-	58	130	50	22	平成19年11月にセンター開設後、会員団体が130団体となった。引き続き登録数の増加を図る。なお、20年度の実績見込値は、20年12月末の実績値。	保健
367	ファミリー・サポート・センター事業実施市町村数	市町村	7	17	8	8	13	15	22	未設置市町村に対する働きかけと、周知啓発に取り組んだことにより順調に増加している。	商工
368	次世代育成行動計画の策定・推進（前期計画）【再掲】		策定	16	推進	推進	推進	推進	21	「徳島はぐくみプラン」に基づき、プラン関連事業をはじめとする少子化対策を推進している。	保健
369	次世代育成行動計画の策定・推進（後期計画）【再掲】		検討	20	-	-	検討	策定	21	平成22年度からの後期計画を平成20年度に検討し、21年度に策定する。	保健
370	児童福祉業務に携わる人材育成研修会受講者数	人	3,200	17	3,000	3,400	1,392	毎年 2,000人	19 ~ 22	平成20年度は、従来の研修内容を見直し、リーダー的職員及び専門的職員に対する研修を重点的に実施した。なお、20年度の実績見込値は、20年12月末の実績値。	保健
371	子育て総合支援センターにおける支援対象団体数	団体	318	17	329	336	390	360	22	子育て総合支援センターにおいて、専門研修の実施やネットワーク会議での連携促進により、子育て支援関係組織の連携強化が図られている。なお、20年度の実績見込値は、20年12月末の実績値。	保健
372	「市町村要保護児童対策地域協議会」設置率	%	50	17	66	83	96	100	22	設置率は概ね順調に推移しており、本年度は3町村で設置された。引き続き、未設置町に対して設置を促進する。	保健
373	里親登録数	人	39	17	46	47	52	60	22	平成20年度は延べ52人の登録を予定している。引き続き、里親制度の周知等により、登録数の増加を図る。	保健
374	「一時・特定保育事業」実施市町村数	市町村	15	17	16	16	16	全市町村	22	全市町村での実施にむけ、今後も引き続き、未実施市町村に対し事業実施の推進に努める。	保健
375	地域子育て支援センター等の設置数	箇所	74	17	80	70	77	100	22	平成19年度は、国庫補助事業の制度改革により、実施箇所数が減少したが、平成20年度には、新たに7カ所の子育て支援施設が開設された。今後も市町村に対して設置を促進する。	保健
376	放課後児童クラブの設置数	クラブ	102	17	111	121	122	139	22	未実施地域において新たに放課後児童クラブが設置された。今後も新規開設を支援していく。	保健
377	不妊治療費助成限度額の拡大		年間10万円	17	年間10万円	年間20万円	年間20万円	年間20万円	19	平成19年度から年間20万円に拡大、目標を達成した。	保健
378	不妊治療費助成件数（累計）	件	243	17	404	707	830	850	22	20年度実績は、20年10月末までの累計であり、今年度中に目標値達成見込み。	保健
379	全国トップクラスとなる乳幼児等医療費助成制度		7歳未満児	18	7歳未満児	堅持	堅持	堅持	22	全国トップクラスの制度を継続中	保健

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	部 局
				年 度					年 度		
380	「阿波っすくすくはぐくみ資金」新規貸付件数(累計)	件	-	17	128	275	366	500	22	広報に取り組んだことにより、順調に増加している。(20年度数値は11月末時点の実績値)	商工
381	「Go!Go!くっつき隊応援し隊」協賛店舗等数【再掲】	事業所	-	17	431	486	524	800	22	地域の企業や事業所の応援による子育て支援の取組について、524事業所が協賛。さらに協賛店舗の増加を図る。なお、20年度の実績見込値は、20年12月末の実績値。	保健
382	一般事業主行動計画策定・届出件数(300人以下の事業所)【再掲】	事業所	22	17	44	79	115	150	22	周知啓発等に取り組んだことにより、順調に推移している。(20年度数値は12月末時点の実績値)	商工
383	「はぐくみ支援企業」認証件数(累計)【再掲】	事業所	-	17	-	25	40	100	22	引き続き積極的な広報に努める。(20年度数値は12月末時点の実績値)	商工
384	「はぐくみ支援企業」表彰件数(累計)【再掲】	事業所	-	17	10	23	23	80	22	引き続き積極的な広報に努める。(20年度数値は12月末時点の実績値)	商工

5 - 7 食育先進県とくしまづくり

385	栄養教諭の配置市町村数	市町村	-	17	8	16	全市町村	全市町村	20	H18から計画的に配置を進めている。栄養教諭の配置 8市町 16市町 全市町村	教育
386	「コンビニエンスストア」食育推進協力店数	店	-	17	0	0	112	100	22	コンビニエンスストア等との連携により、健全な食生活を考えた商品等の販売内容の充実を推進した。	農林
387	「食育推進計画」作成実施市町村数	市町村	-	17	0	1	1	全市町村	22	さまざまな機会を捉え食育推進計画策定の推進を行い、市町村での取り組みがすすめられている。	農林
388	食育推進ボランティア数	人	1,251	17	1,184	1,343	1,367	1,500	22	各団体等へボランティア登録に向けての推進を行い、ボランティア数は増加している。	農林
389	地産地消協力店数	店	120	17	136	188	192	240	22	飲食店や量販店への登録がすすみ、協力店は順調に増加している。	農林
390	学校給食における地産地消推進市町村数	市町村	6	17	9	18	全市町村	全市町村	20	学校給食における地場産物の活用が推進され、給食の一層の充実が図られた。	教育
391	食農教育に取り組む市町村数	市町村	9	17	11	11	24(全市町村)	全市町村	22	全市町村において計画的かつ円滑な食農教育の取り組みが図られた。	農林

基本目標6 「“みんなが、とくしま”の実現

6 - 1 “みんなが、とくしま”体制づくり

392	とくしま国際フレンドシップ憲章の制定				-	制定	推進	制定	19	徳島県国際フレンドシップ憲章(仮称)制定委員会を設置し、検討を進め、平成20年3月に制定。	県民
393	新しい「徳島県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」の策定・推進						策定・推進	策定・推進	20	現在、策定作業中である。	保健

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局

6 - 2 男女共同参画立県とくしまづくり

395	県審議会等に占める女性の割合	%	25	15	40.3	41.4	43.6	50	22	「男女共同参画基本計画」の目標である40%は達成しており、引き続き全庁を挙げて女性の登用に取り組む。	県民
396	「はぐくみ支援企業」認証件数(累計)	事業所	-	17	-	25	40	100	22	引き続き積極的な広報に努める。(20年度数値は12月末時点の実績値)	商工
397	「男女共同参画交流センター」利用者数(累計)	人	-	17	14,000	55,600	98,000	200,000	22	目標である年間5万人を達成するため、講座をはじめ多様な事業を展開している。実績値はH18年度からの累計による。	県民
398	女性役付職員数	人	96	15	129	145	150	200	22	管理職や重要課題を担当するポストへの登用を行い、女性職員の能力の一層の活用に努めている。(女性役付職員数 150名)	企画
399	「フレアとくしま100講座」参加者数(累計)	人	-	17	(1,398)	6,300	13,000	10,000	22	目標である年間2,500人を大きく上回る参加者数が見込まれる。	県民
400	家族経営協定締結数	戸	587	17	662	816	820	750	22	農業支援センターを中心に締結に向けた支援を行い目標を達成した。今後も引き続き推進する。農業経営に意欲的に取り組むようになった女性農業者が出てきている。	農林
401	「フレアとくしま100講座」開催数(累計)	件	-	17	(29)	125	265	400	22	目標である年間100講座を上回る講座を実施する予定である。	県民
402	「Go!Go!くつき隊応援し隊」協賛店舗等数	事業所	-	17	431	486	524	800	22	地域の企業や事業所の応援による子育て支援の取組について、524事業所が協賛。四国4県による広域連携も開始したため、さらに協賛店舗の増加を図る。なお、20年度の実績見込値は、20年12月末の実績値。	保健
403	一般事業主行動計画策定・届出件数(300人以下の事業所)	事業所	22	17	44	79	115	150	22	周知啓発等に取り組んだことにより、順調に推移している。(20年度数値は12月末時点の実績値)	商工
404	「はぐくみ支援企業」表彰件数(累計)	事業所	-	17	10	23	23	80	22	引き続き積極的な広報に努める。(20年度数値は12月末時点の実績値)	商工

6 - 3 高齢者いきいき「生涯現役」とくしまづくり

405	シルバー人材バンク(生きがいづくり推進員)の登録者数(累計)	人	90	17	184	362	-	500	22	シルバー大学校、大学院開講事業の取組みにより、順調に登録者数が増加している。なお、20年度実績は21年5月頃に判明予定。	保健
406	「シルバー大学院」ICT講座入学者数	人	25	17	50	50	60	75	21	19年度は、18年度と同数であるが、20年度においては、南部地域校において、入学者10名を増員。	保健

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
407	シルバー大学院における資格取得者数 (累計)	人	66	17	132	267	-	300	22	シルバー大学校、大学院の開講事業の取り組みにより、順調に資格取得者数が増加している。なお、20年度実績は21年5月頃に判明予定。	保健
408	シルバー大学院のサテライト講座の開設		-	17	-	開設	開設	開設	19	南部、西部地域でサテライト講座(四国観光検定講座)を開催。(10月16日(美馬市)、10月24日(阿南市)、10月29日(徳島市))	保健
409	県健康福祉祭に参加しているスポーツ及び文化交流競技団体に登録している高齢者数	人	7,000	17	7,613	8,016	7,393	9,000	22	徳島県健康福祉祭の競技団体種目を増やすことにより、高齢者のスポーツ及び文化交流競技の活性化を図りながら、登録者数の増加に努めた。	保健
410	「シルバー人材センター」の就労延日人員数	万人	49	17	53	54	-	57	22	シルバー人材センターの適正な運営補助等の取り組みにより、順調に就労延日人員数は増加している。なお、20年度実績は21年6月頃に判明予定。	保健
411	徳島県就労支援プラザを活用した就職件数 (累計)【再掲】	人	102	17	139	156	161	280	22	中高年齢者に対する求人情報の提供やきめ細やかな職業相談を実施しているが、中高年齢者の雇用情勢が厳しいこともあり、目標達成は厳しい状況となっているため、今後、より一層のきめ細やかな職業相談等により就職件数の増加に努めることとしている。(平成20年度数値は11月末時点の実績値)	商工
412	介護支援専門員の養成者数(累計)	人	3,987	17	4,208	4,473	4,704	5,000	22	介護支援専門員実務研修等の実施により、順調に養成者数が増加している。なお、20年度の実績見込値は20年12月末の実績値。	保健
413	介護サービス従事者の研修参加者	人/年	-	17	3,196	3,750	4,052	2,000	19 ~ 22	介護サービスの質の向上を図るため、介護支援専門員の研修他様々な研修に取り組んでいることにより、年間目標である2千人を超える参加者数が見込まれる。なお、20年度の実績値は20年12月末の実績値。	保健
414	高齢者等住宅改修等給付(助成)件数	件	-	17	2,636	2,675	-	12,000	19 ~ 22	市町村と連携しながら、制度の周知に努めている。20年度実績は21年6月頃に速報値、22年2月頃に確定値が判明する予定。	保健

6 - 4 障害者「自立と社会参加」のとくしまづくり

415	障害児自立支援に向けた利用者負担の軽減		負担軽減	18	負担軽減	負担軽減	負担軽減	負担軽減	20	県独自の障害児施設を利用する保護者の負担軽減策を実施している。	保健
416	障害者施設利用者の工賃(月額)	円	14,000	17	15,000	16,132	-	21,000	22	授産製品の販路拡大等に努め、工賃アップに向けた取り組みを強化している。 なお、20年度実績は、21年4月以降に判明予定。	保健
417	指定サービス提供事業所の指定件数	事業所	-	17	402	508	570	550	22	障害者自立支援法の周知により、指定件数は、順調に伸びている。引き続き制度の周知に努める。	保健
418	サービス管理責任者研修の受講者数 (累計)	人	-	17	107	222	350	470	22	障害者相談支援センターで実施。障害者自立支援法の周知により、受講者数は順調に養成できている。	保健

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
419	相談支援従事者研修の受講者数(累計)	人	676	17	960	1,109	1,211	1,500	22	障害者相談支援センターで実施。障害者自立支援法の周知により、受講者は順調に養成できている。	保健
420	補助犬の登録頭数(累計)	頭	9	17	10	11	12	14	22	NPO法人ボランティアドッグ育成センター及び(財)徳島の盲導犬を育てる会等と連携し実施。順調に養成できている。	保健
421	「障害者交流プラザ」の利用者数(累計)	人	-	17	100,642	207,206	323,000	500,000	22	障害の有無に関わらず、利用者は順調に伸びている。引き続き指定管理者と連携し周知に努めていく。	保健
422	「ふれあい徳島号(リフト付きバス)」の利用者数	人	-	17	963	2,920	4,600	8,000	19 ~ 22	障害者団体等の各種イベントの移動手段として活用いただいております。利用者は順調に伸びている。	保健
423	指定相談支援事業所の指定件数	事業所	-	17	42	43	47	50	22	相談事業の実施主体である市町村とも連携し、周知・指導に努めていく。	保健
424	障害児に対する療育相談件数	件	1,789	17	1,608	1,709	1,800	2,500	22	県の実施する地域生活支援事業の一環であり、今後も制度の周知に努めていく。	保健
425	地域共同作業所の指定事業者への移行件数(累計)	件	-	17	3	4	4	30	22	経営基盤強化を図るため、新体系への移行促進に向けて、指導に努めていく。	保健
426	「障害者雇用促進憲章(又は条例)」の制定【再掲】				-	制定	-	制定 (憲章)	19	平成19年12月に「とくしま障害者雇用促進憲章」を制定し、目標を達成した。	商工
427	民間企業の障害者雇用率【再掲】	%	1.41		1.33	1.49	1.53	法定雇用率 以上	22	20年度実績(平成20年6月1日現在)は法定雇用率1.80%を下回っているものの、労働局など関係機関と連携し、障害者雇用を促進するための啓発活動や障害者の職業能力開発に向けた訓練等を実施したことにより、前年度より0.04ポイント上昇した。	商工
428	高次脳機能障害者への支援ネットワークの構築		-	17	-	推進	推進	構築	22	徳島大学等との連携・協力の基に専門相談の実施及び精神保健福祉センターを中心に研修会を開催することで、高次脳機能障害についての正しい理解と地域支援ネットワーク構築の啓発が深まっている。また、高次脳機能障害家族会が結成され家族交流の場が拡大している。	保健
429	「発達障害者支援センター」の相談件数(累計)	件	-	17	418	883	1,220	2,000	22	18年4月に県立あさひ学園内に設置した「発達障害者支援センター」において、相談・研修等による支援を行っている。発達障害に関する相談件数も増加傾向にある。	保健

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	部 局
				年 度					年 度		
6 - 5 共助・共生のまちづくり											
430	介護予防リーダーの養成者数（累計）	人	-	17	0	109	257	400	22	県内4カ所で介護予防リーダー養成研修を開催し、介護予防リーダーを148名養成した。	保健
431	障害者スポーツ指導員の派遣件数	件	-	17	-	56	155	200	22	ゼロ予算事業を活用し、(財)とくしまノーマライザーセッション促進協会に人材バンクを設置し、利用促進に努めている。	保健
432	「ひとり暮らし高齢者等支援ネットワーク」の設置率	%	-	17	29	50	-	100	22	地域包括支援センターへの指導、研修を通じて、ネットワーク支援に取り組んでいる。なお、20年度実績は21年4月頃に判明予定。	保健
433	認知症サポーター数（累計）	人	-	17	2,179	4,832	-	5,000	22	県が養成したキャラバンメイトを中心として、各地域で認知症サポーター養成講座が開催され、順調に認知症サポーターが養成されている。なお、20年度実績は21年6月頃に判明予定。	保健
434	県登録手話通訳者数	人	46	17	53	50	50	75	22	全国統一試験実施の結果、短期登録者は減少したものの、永年登録者数は増加している(27人 33人)。手話通訳養成講座を実施しており周知に努めていく。	保健
435	「動物愛護推進員」委嘱数	人	-	17	-	0	31	50	22	20年7月に動物愛護推進員設置要綱を定め31名の推進員を委嘱した。	保健
6 - 6 ユニバーサルデザインとくしまづくり											
436	ユニバーサルデザイン表彰数（累計）	件	-	17	-	7	-	30	22	「とくしまユニバーサルデザインによるまちづくり賞」として、「街づくり」「ものづくり」「意識づくり」の3部門で表彰を実施。	保健
437	ノンステップバス（路線バス）の台数	台	43	17	51	58	64	69	22	今年度6台のノンステップバスの導入が見込まれており、想定を上回るペースで導入が進んでいる。	県土
438	ユニバーサルデザイン化着手都市公園数	公園	-	17	1	2	2	6	22	今年度は、鳴門・大塚スポーツパークのUD化が進捗。	県土
439	対向車接近表示システム等設置箇所数	箇所	-	17	11	16	17	20	22	日和佐小野線（美波町日和佐浦）及び腕山花ノ内線（三好市井川町腕山）において対向車接近表示システムを整備中。	県土
440	電線類を地中化した県管理道路の延長【再掲】	km	7.0	17	8.0	8.5	8.5	8.5	22	平成19年度、常三島中島田線（徳島鴨島線）、元町沖洲線において整備が完了し、目標8.5kmを達成。	県土
441	幅3m以上の歩道を必要とする県管理道路における歩道設置率	%	62	17	65	70	71	73	22	補助及び県単独事業において、順調に進捗中。	県土
442	県管理の特定道路のバリアフリー化率	%	15	17	15	15	28	100	22	徳島停車場線、宮倉徳島線において整備中。	県土

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実 績 値 (18年度)	実 績 値 (19年度)					
443	藍場町地下駐車場のエレベーター数	基	1	19	-	1	1	2	21	平成21年度供用に向け、整備工事を実施中	企業
444	相談、情報提供等の生活支援サービスを受けた外国人数	人	2,573	17	2,575	3,293	2,668	4,000	22	外国人からの相談対応や多言語による情報提供などを実施した。(20年度は4~11月の実績値)	県民
445	外国人支援ボランティア養成講座の参加者等	人	196	17	236	196	229	300	22	日本語指導ボランティア養成講座等を開催した。(20年度は4~11月の実績値)	県民

6 - 7 活力みなぎるとくしまづくり

446	「移住交流支援センター」の設置地域数	地域	-	17	-	6	6	10	22	20年3月までに、美馬市・三好市・那賀町・美波町・神山町・勝浦町において設置済みである。	県民
447	「とくしまアグリテクノスクール」受講者数	人	173	17	391	419	430	500	22	「営農基礎コース」の定員の見直しなど、講座の充実を図った。	農林
448	「地域めぐりシステム」設置箇所数	箇所	-	17	-	7	7	7	22	整備予定である7か所すべてに整備できた。	農林
449	県外シニア世代対象の「徳島学」夏期講座の開催				-	検討	-	開催	20	参加見込み等の検討結果を踏まえ、開催を見送ることとなった。	企画
450	ボランティア・アドプト登録人口【再掲】	人	135,238	17	136,081	139,289	139,500	140,000	22	社会貢献活動への参加形態の多様性により伸び幅は大きくないものの、着実に増加している。	県民
451	構造改革特区・県版特区・地域再生計画数(累計)	件	22	17	23	25	27	30	22	20年度は構造改革特区・地域再生計画が新たに2件認定された	企画
452	「中山間地域等直接支払制度」に取り組んだ集落協定数	協定	639	17	652	656	656	670	21	市町村を対象とした事業説明会等を実施し、目標をほぼ達成した。	農林
453	農地や農業用水などを保全するため共同活動に取り組んだ活動組織数	組織	-	17	0	104	104	100	22	活動組織や関係者等を対象に事業説明会等を実施し、目標を達成した。	農林
454	生産基盤と生活環境が一体的に整備された地区数(累計)	地区	87	17	90	93	96	95	22	平成20年度は、日和佐・東祖谷・新野の3地区において整備が完了した。	農林
455	公募型メニューにより事業に取り組んだ実施主体(累計)	件	-	17	35	74	97	80	22	計画を審査し、地域振興の見込まれる事業に対し補助を行い、目標を達成した。今後も、引き続き推進する。	農林
456	地域創造モデル事業交付金制度				-	創設・運用	運用	創設	19	19年7月に創設した「地域創造モデル事業交付金制度」を運用している。	県民

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	見込値 (20年度)				
基本目標7 「“にぎわい、とくしま”の実現											
7 - 1 “にぎわい、とくしま”体制づくり											
457	「道の駅」新規選定箇所数	箇所	-	17	0	1	2	10	22	今年度、三好市において道の駅「大歩危」を登録。	県土
458	「とくしまスポーツ憲章」の制定				-	制定	推進	制定	19	「とくしまスポーツ王国づくり」の実現を目指して「とくしまスポーツ憲章」を制定した。	県民
459	徳島小松島港本港地区におけるボードデッキ等の整備		整備中	17	整備中	整備中	整備中	一部供用	22	これまでに、地域住民のアイデアを活かした計画を策定。今年度、ボードデッキを含むゾーンの整備が完了。	県土
460	徳島東部都市計画区域の都市計画見直し		-	17	基礎調査	基礎調査	分析調査	見直し	22	都市計画見直しの基礎となる調査を実施中。	県土
461	新町西地区市街地再開発事業の進捗率	%	-	17	-	-	-	40	22	都市計画決定について協議を行った。	県土
462	観光入り込み客数	万人	1,245	17	1,297	1,357	-	1,500	22	とくしまの観光ブランドを効果的に発信することで観光誘客促進に一層取り組んだ。20年実績は21年夏頃判明予定。	商工
7 - 2 交流ひろがるとくしまづくり											
463	徳島飛行場の拡張		整備中	17	整備中	整備中	整備中	供用	22	平成22年度供用に向けて事業促進。平成19年度に、埋立工事完了。今年度は滑走路整備等に着手。	県土
464	外環状道路（延長約35.0km）の供用率（暫定含む）	%	44	15	44	48	49	66	22	徳島環状線国府～藍住工区が、一部暫定供用予定（0.3km）。	県土
465	徳島小松島港沖洲（外）地区の整備				-	-	港湾計画変更、調査	整備中	22	港湾計画の変更手続き完了。工事に向けて必要な、調査等を実施。	県土
466	徳島小松島港赤石地区における貨物取扱量	万トン	120	17	113	-	-	200	22	内貿埠頭の早期供用に向けて用地造成を推進。実績は、翌々年度6月頃に確定する見込み。	県土
467	四国横断自動車道（鳴門～徳島間）の整備用地取得率	%	14	17	63	95	98	100	22	順調に用地取得を推進した。	県土
468	四国横断自動車道（徳島～徳島東間）の整備		調査中	17	調査中	調査中	調査中	設計協議中	22	早期の現地調査着手に向け、データ収集等の諸準備を実施。	県土
469	四国横断自動車道（徳島東～阿南間）の整備		調査中	17	設計協議に着手	設計協議	設計協議・用地交渉・一部工事	工事施工中	22	小松島～阿南間は、5地区で設計協議が整い、徳島東～小松島間は、1地区で設計協議に着手。	県土
470	地域高規格道路徳島環状道路（延長22km）の供用率	%	28	17	30	37	39	60	22	徳島環状線国府～藍住工区が、一部暫定供用予定（0.3km）。	県土
471	阿南安芸自動車道（日和佐道路延長9.3km）の供用率	%	-	15	6.2km概ね完了	67	67	67	22	平成19年5月12日に、由岐IC～美波町北河内間6.2kmが開通。	県土

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	見込値 (20年度)				
472	地域高規格道路阿南安芸自動車道（桑野道路）の整備		未実施	17	調査中	調査中	調査中	調査設計中	22	事業化を目指しルート選定等の作業中。	県土
473	地域高規格道路阿南安芸自動車道（福井道路）の整備		未実施	17	調査中	調査中	調査中	調査設計中	22	事業化を目指しルート選定等の作業中。	県土
474	一般国道32号猪ノ鼻道路（延長8.4km）の整備		調査中	17	調査中	用地交渉・ 工事に着手	用地交渉・ 工事を促進	工事施工中	22	用地交渉・工事を促進。	県土
475	一般国道55号阿南道路（延長21km）の供用率	%	71	17	71	74	74	74	19	平成19年12月1日に、津乃峰町長浜～東分間0.5kmが開通し、目標を達成。	県土
476	一般国道55号牟岐バイパス（延長2.4km）の整備		調査中	17	調査中	調査中	設計協議に 着手	工事施工中	22	平成20年12月より、3地区に分け、設計説明会を開催。	県土
477	県道徳島空港線（徳島空港～一般国道28号）の整備		整備中	17	整備中	整備中	整備中	暫定共用	21	H21年度暫定供用に向け、整備を促進。	県土
478	元町沖洲線（延長2.7km）の整備				整備中	4車線化 完成	-	4車線化 完成	19	4車線化完成し、供用している。	県土
479	マリンピア沖洲 期事業（土地造成）		事業中	17	事業中	事業中	事業中	概成	22	北側緑地の用地造成が完了。引き続き道路用地等の整備を推進する。	県土
480	放射道路（延長約23.2km）の供用率（暫定含む）	%	68	17	74	77	79.9	80	22	国道438号上八万バイパスが部分供用（0.6km）。	県土
481	主要幹線道路等における渋滞交差点の箇所数	箇所	23	17	22	16	15	6	22	下中筋交差点の渋滞対策工事が完成。	県土

7 - 3 観光立県とくしまづくり

482	映画、ドラマ、CM等のロケ撮影支援件数（累計）	件	88	17	113	139	158	200	22	引き続き、的確な情報提供とアテンドにより、県内ロケの支援・誘致を図る。（20年度数値は、21年1月末時点の実績値）	商工
483	「観光検定」の合格者数（累計）	人	-	17	73	242	309	300	22	引き続き観光達人の育成に取り組む。	商工
484	観光入り込み客数	万人	1,245	17	1,297	1,357	-	1,500	22	とくしまの観光ブランドを効果的に発信することで観光誘客促進に一層取り組んだ。20年実績は21年夏頃判明予定。	商工
485	「徳島観光ファンクラブ」会員数（累計）	人	3,418	17	3,560	5,030	5,100	6,000	22	旬の徳島の情報をいち早く発信し、多くの人々に徳島の魅力を伝えていく。	商工
486	県内主要「阿波おどり」入り込み客数	万人	148	17	148	160	153	160	22	映画「眉山」等の効果を活用し、観光誘客促進に取り組んだ。	商工
487	「はな・はる・フェスタ」入り込み客数	万人	20	17	24	32	31	28	22	企画内容を工夫することにより、観光誘客促進に取り組んだ。	商工
488	体験型教育旅行における協議会受入泊数（累計）	泊	-	17	165	506	2,114	5,000	22	教育旅行の受入促進に一層取り組む。	商工

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績 見込値 (20年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実 績 値 (18年度)	実 績 値 (19年度)					
489	グリーン（ブルー）・ツーリズム インストラクター数（累計）	人	16	17	26	32	32	35	22	四国グリーン・ツーリズム推進検討会やまちむら交流機構との連携により、グリーン・ツーリズムインストラクター育成スクールを徳島県で開催し、体験指導者の育成に取り組み、ほぼ目標を達成した。	農林
490	観光地へのアクセスルート整備箇所数	箇所	-	17	-	-	2	4	22	国道492号知野拡幅・国道193号五倍木拡幅が完成供用予定。	県土
491	イベント情報を表示する道路情報板数	箇所	-	17	0	59	34	20	22	今年度、とくしまマラソン、観光地までの距離・時間、社会実験案内等表示した。実績値の34基は最も多く表示された日の基数（観光地）。	県土
492	「県産品まるごとデータベース・阿波のある でよネット」商品数	品	500	17	670	690	720	1,000	22	掲載商品数の増加に取り組んだ。	商工
493	コンビニエンスストアでの県産品販売コー ナー設置数	箇所	-	17	5	6	6	20	22	県産品販売コーナーの設置数増加について働きかけた。	商工
494	「ふるさと水と土指導員」の認定数	人	31	17	34	35	38	40	22	資質向上のための県内研修会の開催や、全国研修会への派遣等により認定数の増加を図った。	農林

7 - 4 笑顔と活気あふれるとくしまづくり

495	コンベンション（四国大会以上）の参加者数 （累計）	人	76,000	17	167,475	263,608	-	500,000	22	積極的な誘致活動、開催助成金の支給等により、コンベンション誘致の促進に取り組んだ。20年度実績は21年5月頃判明予定。	商工
496	ドイツ・ニーダーザクセン州との友好提携				-	提携	推進	提携	22	平成19年9月に「日本国徳島県とドイツ連邦共和国ニーダーザクセン州との交流に関する共同宣言」に調印した。	県民
497	国民文化祭（来場者数）	人			-	770,000	-	700,000	19	第22回国民文化祭を県内外から、延べ約77万人の来場者を迎え開催した。	県民
498	第20回全国なぎさシンポジウムin徳島 （参加予定人数）	人			-	400	-	700	19	第20回全国なぎさシンポジウムin徳島を平成19年11月8日に開催し、全国から約400人参加した。	県土
499	地域ICT未来フェスタ（参加予定人数）	人			-	-	118,900	100,000	20	平成20年11月7日から9日までの3日間、アスティとくしまをメイン会場に県内8市町11会場で開催した。	県民
500	ドイツ・ニーダーザクセン州との経済・文化 交流等（ハノーバーメッセへの出展、公式訪 問団の招へい）				阿波踊り等 派遣	派遣・上演・ 招へい	出展・招へ い	出展・招へ い	20	ハノーバーメッセへの出展を実施し、目標どおり達成された。	県民
501	中国・広東省との文化交流等（文化行政部門 の職員・公式訪問団の受入、広州芸術博物院 所蔵作品の展示、舞踊団の招へい）				派遣・受 入・展示・ 招へい	受入・展示・ 招へい	-	受入・展示・ 招へい	19	書作品の展示等を実施し、目標どおり達成された。	県民
502	ブラジル・サンパウロ州との文化交流等（公 式訪問団の派遣、阿波踊り交流・技術指導）						派遣・交 流・指導	派遣・交 流・指導	20	公式訪問団の派遣や文化交流等を実施し、目標どおり達成された。	県民

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考>	<参考>	実 績	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	部 局
					実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	見込値 (20年度)				
7 - 5 e - とくしまづくり											
503	ブロードバンドサービス世帯普及率	%	37.4	17	42.4	45.4	50.1	60	22	利用エリアの拡大に伴い、普及率は順調に増加している。20年度数値は20年9月末現在による。	県民
504	過疎地域におけるCATVサービス提供市町村の割合	%	6.9	15	61.5	61.5	61.5	100	22	海部郡3町が連携して地域イントラネット基盤施設整備事業を実施。三好市、美馬市において加入者系光ファイバ網の整備事業を実施。	県民
505	「(財)e-とくしま推進財団」を活用した産学官地域連携事業数(累計)	事業	3	17	11	24	38	30	22	国、県、市町村、大学、経済団体、民間事業者、NPO法人等と連携して、調査研究事業やICT普及啓発事業を行った。	県民
506	「地域ICT未来フェスタ」の開催				開催決定	開催準備	開催	開催	20	平成20年11月7日から9日までの3日間、アスティとくしまをメイン会場に県内8市町11会場で開催した。	県民
507	超高速ブロードバンドサービス(FTTH:光ファイバ)利用可能世帯の割合	%	63.6	17	71.0	74.0	-	90	22	利用エリアの拡大途上である。20年度数値は21年6月頃に判明の予定。	県民
508	シニアITアドバイザー取得者数(累計)	人	20	17	44	142	-	200	22	シルバー大学校、大学院の開講事業の取り組みにより、順調に取得者数が増加している。なお、20年度実績は21年5月頃に判明予定。	保健
509	シニア情報生活アドバイザー登録者数(累計)	人	11	17	36	56	64	100	22	市町村やNPO法人と連携し、シニア情報生活アドバイザー養成講座の開催支援を行った。(20年度数値は20年12月末現在)	県民
510	電子カルテシステムの導入・運用する県立病院数	病院	2	17	2	2	2	3	21	三好病院において、電子カルテシステムの整備を行った。	病院
511	オンライン手続の利用促進「オンライン利用促進計画」の策定				-	策定	推進	策定	19	オンライン手続の利用を促進するため、平成20年3月、徳島県ICT推進本部において「電子申請・届出システム オンライン利用促進計画」を策定し、これに基づき、利用促進を図った。	企画
512	電子入札システムの運用				-	本格運用	本格運用	本格運用	19	平成19年4月より本格運用開始 平成20年10月より市町村との共同利用の試行運用開始	県土
513	「総務事務システム」の整備・運用				検討	開発	運用開始	運用開始	21	長崎県から提供を受けた総務事務関係システムを徳島県仕様にカスタマイズする作業を進めるとともに、徳島県独自のシステムについて新規開発を進めた。	企画
514	「次世代収納基盤システム」の導入・運用						整備	運用開始	21	「次世代収納基盤システム」の導入事業者をプロポーザル方式により決定。平成21年5月から自動車税のコンビニ収納を実施するため、システム改修と運用テストを完了予定。	企画

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	部 局
			年度	年度				年度	年度		
7 - 6 文化立県とくしまづくり											
515	「文化立県とくしま推進基金」の創設				-	検討	創設	創設	20	平成20年度に基金を設置し、4大モチーフ全国発信事業及び助成金交付事業を行った。	県民
516	国民文化祭・とくしま2007の成功(来場者)	人			-	770,000	-	700,000	19	第22回国民文化祭を県内外から、延べ約77万人の来場者を迎え開催した。	県民
517	学校への芸術家等派遣回数(累計)	回	20	17	62	133	204	200	22	20年度は、学校への芸術家派遣事業40回、本物の舞台芸術体験事業26回、児童劇巡回5回を実施した。	県民
518	博物館・近代美術館入館者数(累計)	万人	248	17	265	295	307	300	22	博物館では常設展の他、企画展を3回開催した。美術館では所蔵作品展の他、企画展を4回開催した。(20年度数値は4月~12月の実績)	教育
519	鳥居龍蔵記念博物館(仮称)の開館		-	17	-	-	整備	開館	22	文化の森に鳥居龍蔵博物館(仮称)の収蔵庫を整備。	教育
520	「あわ文化」情報の発信回数	回			0	12	4	1回以上	19~	県庁1階の県民ホール展示ケースやホームページを活用して、徳島ならではの文化資源について情報発信した。	県民
521	伝統芸能県外・海外公演開催数(累計)	件	6	17	20	47	75	60	22	20年度は、阿波踊り22回、人形浄瑠璃6回の公演を実施した。	県民
522	文化事業への協力企業数	社	-	17	0	10	10	10	22	あわ文化コーディネート事業の検討を進めるとともに、郷土文化会館のパンフレットへの広告掲載について、企業の協力を得た。	県民
523	「阿波十郎兵衛屋敷」入館者数(累計)	人			30,989	35,231	67,231	150,000	19~22	定期公演やイベントの内容充実、情報発信等に努めている。	県民
524	新たなスタイルの「県民文化祭」の開催				-	検討	開催	開催	20	19年度の国民文化祭の成果を継承し20年度再開した。	県民
525	発掘調査面積(累計)	m ²	4,800	17	7,200	9,600	11,200	12,000	22	史跡整備の基礎資料を得るとともに、史跡周辺の重要遺跡の確認に努めた。	教育
526	文化財ボランティア養成人数(累計)	人	-	17	42	61	86	200	22	いにしえ夢街道推進事業の一環として、地域の活動者の育成を目的に、年4回の講座を実施した。	教育
527	歴史的景観(史跡を含む)の国指定・選定数	地区	9	17	9	9	10	13	22	歴史的景観を活かした地域づくりを進めるため、史跡指定の条件整備に努めた。その結果、国指定史跡が1地区増となった。	教育
528	文化の森文化施設普及事業の開催回数(累計)	回			209	448	667	800	19~22	文化の森の博物館、近代美術館、文書館他において阿波文化を直接体験できる普及事業を開催した。(20年度数値は4月~12月の実績)	教育

印は21年度版で上方修正

(20年度実績見込値は、平成21年1月時点での年度末見込数値)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	<参考> 実績値 (19年度)	実 績 見込値 (20年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	部 局
			年度	年度				年度	年度		
529	文学書道館の講座開催回数(累計)	回			42	58	102	160	19 ~ 22	20年度12月現在で文学25回、書道7回の講座を開催した。	県民
530	近畿高等学校総合文化祭の開催				準備	準備	開催	開催	20	平成20年11月14日から23日の10日間、「第28回近畿高等学校総合文化祭」を本県で開催し、約6千人の高校生が徳島に集い、芸術文化活動の成果を発表し、交流した。	教育
7 - 7 とくしまスポーツ王国づくり											
531	「とくしまマラソン」の開催				-	準備	開催	開催	20	開催要項に基づき、実施計画、競技運営マニュアルを策定するなど準備を進め、平成20年4月27日に開催した。	商工
532	競技力向上のための中学・高校連携ゾーン数	ゾーン	-	17	0	1	5	16	22	競技力向上スポーツ指定校制度による競技力の基盤強化を図るとともに、中学・高校連携による競技力向上連携ゾーンをスタートさせた。	県民
533	スポーツ大会、合宿の誘致件数	件	16	17	23	33	30	32	22	引き続き、大会や合宿の誘致に取り組む。	商工
534	アウトドアスポーツのインストラクター・ガイドを業とする個人・団体数	団体	6	17	7	7	9	10	22	アウトドアスポーツのインストラクター・ガイドを業とする個人・団体が増加し、アウトドアスポーツが地域の産業となりつつある。今後は南部圏域で行えるアウトドアスポーツを効果的にPRし、地域ブランド力の向上や交流人口の増加を目指す。	企画
535	アドベンチャーレースなどのアウトドアイベントの開催				-	-	開催	開催	20	平成20年11月1日及び2日に、美波町と海陽町でアドベンチャーレース「四国エクストリームチャレンジin南阿波2008」を開催した。	企画
536	「スポーツ表彰・褒賞制度」の創設				-	策定中	創設	創設	19	平成20年1月に策定された「とくしまスポーツ憲章」に基づき、「徳島県スポーツ賞」を創設した。	県民
537	国民体育大会天皇杯順位	位	46	17	47	47	43	30位台	22	強化対象団体の絞り込みを行うとともに、強化費の重点配分や本大会直前強化事業への支援を実施した。	県民
538	「とくしまスポーツSHOWデー」でのスポーツイベント等助成数	件	-	18	-	10	21	20	22	平成20年度は、21件のイベントに助成するとともに、ファミリー対象のイベントを3件主催した。	県民
539	総合型地域スポーツクラブの設立数	クラブ	13	17	17	21	22	26	22	現在、20市町村において28の総合型クラブが設立又は設立準備中である。	県民
540	南部健康運動公園の整備(テニスコートエリア)		整備中	17	整備中	多目的広場 完成	管理棟完成	整備完了	22	テニスコートエリアのうち、テニスコート4面の整備が進捗し、管理棟の整備が完了。	県土
541	橋港小勝・後戸地区の緑地整備(スポーツ・レクリエーション振興ゾーン)		-	17	-	-	公共用地の 造成中	整備中	22	公共用地の造成を実施。用地造成後は緑地の工事着手を目指す。	県土